京城日報
十二日夕刊

○露國政界軋轢 ケレンスキー內閣は立憲

▲ケ內閣の危機

民主黨閣員と社會黨閣員との間に意見の衝突を惹起したる結果內閣は新に分裂を生じたり（露都電報）

▲內閣明渡要求拒絕 ケレンスキー氏の布告

露都來電＝コロニロフ將軍の諸權引渡しの要求は前宰相ウオフコフ氏を經由して首相ケレンスキー氏に傳達せられたり該要求には「コロニロフ將軍は自ら新政府を組織すべし」と云へりケレンスキー氏は布告を發して曰く國家の艱難に乘じて革命整理の目的に背馳する狀態を設定せんと欲する企擧あるに省み政府は祖國の安全及び共和制度の自由を擁護する爲め必要なる緊急處分を執りて主權を紛糾せしめんとする一切の企擧を根絕するの須要なるを認め予に命ずる所ありたりと（倫敦電報）

▲ケ首相布告別報

ケレンスキー氏は布告を發したるが其の大要はコロニロフ將軍よりケレンスキー氏に對し自ら新政府を組織すべきを以て行政並びに軍部上の權限を悉く讓り渡さんことを要求せるを以てケレンスキー氏は此の要求を拒絕し却てコロニロフ將軍に對し北方戰線露軍總司令官クレンボースキー將軍に大元帥の印綬を引渡さんことを命じたりと（露都電報）

▲コ將軍を反逆罪に

ケレンスキー氏はコロニロフ將軍及びコムスキー將軍を反逆罪に問ふ可く政府はコロニロフ將軍の司令權を剝奪する處置を執りつゝあり（露都電報）

○瑞典中立違反問題 倫敦タイムスの所論

倫敦タイムス紙は社說に於て論じて曰く瑞典が國際上最も恥づべき性質の秘密暗號通牒を通報したるは由々敷中立違反なりと而して此際に就きての公約違反に顧み更に問題は重大にして此不信任なる瑞典の行爲は愼重に考慮するを要すべしと（倫敦電報）

○金輸出取締令公布

十二日大藏省令第二十八號を以て金貨幣又は金地金輸出取締令公布されたり其の全文左の如し

（一）金貨幣又は金地金を輸出せんとする者は大藏大臣の許可を受くべし但し外國に旅行する者が旅行者の携帶する場合は此の限りに非ず（二）前項の規程に違反する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す（三）地金として販賣又は使用する目的を以て金貨幣を回收鎔潰又は毀傷したる者の罰亦前項に同じ（東京特電）

●大阪對鮮貿易

大阪對朝鮮貿易九月上旬移出百十四萬九千三百八十六圓移入二十九萬三千七百七十五圓なり（大阪特電）

○軍司令官動靜

晉州に來著したる松川軍司令官は十二日朝馬山に向ひ出發したり（晉州特電）

○フランデー氏來鮮

東京駐劄伊太利大使館參事官フランデー氏は十二日朝高麗丸にて釜山著午前十時三十分發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

○松本代議士來鮮

兵庫縣選出代議士松本誠三氏は十一日朝入港連絡船さくら丸にて來釜同夜十一時發列車にて京城に向ひたるが同氏は約二箇月の豫定を以て鮮滿產業の狀態を視察の目的なりと（釜山特電）

○蓼原判事歸鮮

晉州地方法院判事蓼原三雄氏は十一日夜入港連絡船對馬丸にて釜山上陸同夜十一時發列車にて歸任せり（釜山特電）

○總督茶菓饗應

長谷川總督は十二日午後零時半京城高等普通學校附屬普通學校に於て福岡縣教育會主催滿鮮教育視察團員四十一名に對し茶菓の饗應を爲せり

○旅團機動演習

羅南步兵第卅七旅團本秋機動演習は大村旅團長統裁の下に十月十三日より廿二日頃迄約十日間に亙り實施さるゝ筈なるが演習地は目下秘密に附するも國境行營附近に於て最終戰を行ひ廿二日は會寧練兵場に於て觀兵式を擧行し廿三日其れ〲歸隊の途に就く由にて參加部隊は羅南咸興兩步兵聯隊の外北鮮衞戍特科隊も全部參加すべく尙ほ演習終了後は數日間の旅團幹部演習をも行ふ由（淸津）

○內鮮電信の遲延

近來內地朝鮮間の發著電報著しく遲延しつゝあるが右は各種電報增加のためもあれど最近の故障は二百十日並に廿日前後の關係より天候の障碍が內地に於ける直通電信線に被害を及ぼすためにて朝鮮內の故障にあらずと

●雇員受驗者

十二日午前八時より臨時土地調査局に於て總督府雇員試驗を執行せるが今回の受驗者は百餘名に達せり

●軍司令官動靜

南鮮駐屯各部隊巡視中の松川軍司令官一行は十二日晉州守備隊を視察し十三日鎭海海軍司令部及び砲臺を巡視十四日馬山鎭海重砲兵大隊馬山分院等を視察し十五日一先歸任し更に近く西鮮各部隊巡視の途に就く筈

●立花中將歸任

平康附近に於ける野砲兵第六中隊實彈射擊演習檢閱の爲め出張中なりし立花第十九師團長は十二日午後五時八分龍山驛著列車にて歸任の筈

●安達公使出發

赴任の途入京滯在中なりし白耳義公使安達峰一郞博士及び夫人令息從者一行六名は十二日午前九時十分南大門驛發列車にて出發任地に向へり停車場には多數の見送りありたり

●早川旅團長動靜

步兵第三十九旅團長陸軍少將早川新太郞氏は十一日午後一時平壤出發同七時半南大門驛著巴城館に投宿十二日午前十時龍山軍司令部を訪問し更に第十九師團司令部に至り夫々敬意を表したるが十三日は步兵第七十八聯隊初度の巡視を遂げ翌十四日歸任する筈、因に隨行者は副官大尉谷澤隆次郞氏なり

●廣瀨部長歸任延期

廣瀨軍經理部長は本月二日來北鮮地方巡視中なるが最初の豫定にては十二日歸龍の筈なりしが都合により旅程を變更し十二日咸興に上陸十五日西湖津上船十六日朝元山を經て同夜歸任の筈なりと

●高井砲兵大尉入京

新設の平壤兵器製造所々員陸軍砲兵大尉高井正之氏は十二日夜入京十三日軍司令部を訪問種々事務に付打合はする所ありたり

●視察團動靜

福岡縣教育會主催滿鮮視察團一行四十一名は十一日夜南大門驛著入京旅館に投宿せり一行は本部及び三班に分れて各自調査事項を受持ち居れるが十二日は京城市內商品陳列館、總督府、諸學校、商業學校、普通學校等を見物し正午高等普通學校に於て長谷川總督より茶菓の饗應を受けたり、一行は十三日午後零時半仁川に赴き同夜九時四十分南大門驛發汽車にて北行す可く奉天、哈爾賓、旅順、大連等を經て歸鄕の筈なり

●矢野通信課長歸期

金剛山遊覽に元山方面の遞信事務視察のため出張中の矢野遞信局通信課長は十四五日頃歸任の筈

●佐藤鮮銀司事歸期

八日紐育より歸朝せし鮮銀司事佐藤得四郞氏は月末頃歸京の豫定なりしと

●高普生鐵道工場見學

京城私立養正高等普通學校生徒四十名は十二日午後一時より龍山鐵道工場を見學したり

炭價の前途 强弱の兩面觀

撫順炭は市價に動かされ十月一日より京城渡し塊炭一噸十九圓切込炭十八圓乃ち從來に比し▲噸四圓の引上げを斷行したるため一般需要家の恐慌大方ならざるものあり現に各官廳の如く昨夏の時價により豫算を編成し既に歲出豫算の確定を告げたる石炭の購入を以上の影響を見居れる場所は二倍如何にしてなすべきか又今多如何に經濟的に石炭の使用を致すべきかに會計當局は切りに苦慮し居れるが聞く所によれば撫順炭の昨今朝鮮に入り來る量は一日三百五十噸內外にて辛ふじて供給は需用量を充し居れるも寒氣を覺ゆる季節に入らば一日七百噸乃至八百噸の需要あるべく然も冬期には滿洲特產の出廻り旺盛を告ぐるを常とするに付貨車配給十分ならず從つて撫順炭の▲朝鮮供給は不足勝ちとなるべく旁々撫順炭の前途は尙ほ幾分强調を含み或は九州炭の時價噸二十二三圓所に近まるべしとの說あり唯傳へらるゝ如く政府にて船舶管理令を發布し船舶運賃率の强制的限度を斷行するの事とならば或は內鮮間の船運賃の値に若干の低落を見て旁々門司仁川間一噸十圓てふ未曾有なる現運賃の値下りにより幾分九州炭價の引下げを現出し撫順炭も若干値下りを見ずやと又石炭の輸出制限を行はんとする說もあり其等の斷行により內地炭の外鮮に於ける九州炭價の低落を誘致し▲弱氣說も出で居れるが要するに今日の所確然せず唯刻下の石炭需給狀勢より見て現在より著しき安値を現出する事はあり得べからざる事ならん

●組合會召集

京城學校組合會は略報の如く十二日午後三時より組合會議場に於て本會議召集、去る七日同委員會に於て四對一の大多數にて原案否決に終りたる軍司令部提供の龍山新設小學校問題及び之に關聯する豫算更正及び追加の件を附議する所ありたり

●鮮銀本店貸出

鮮銀本店營業課の八月末に於ける貸出現在高は金額一千三百六十九萬九千二百八十二圓にして之れを前月末に比すれば口數に於て若干の減少を示し居れど金額は七萬四千四百圓の增加となり居れり尙前記總額中銀行に對する融通額は二百三十八萬二千九百圓なりと

●東拓總會期日

東拓法改正に伴ふ同社の改正定款を附議する臨時株主總會は石塚東拓總裁東上の結果愈々二十六日開會の事となりしが本社にては十三日夫々株主に通告を發したり

●東拓奉天支店位置

東拓奉天支店位置は先般來同社に於て詮索中なりしが當分の意味にて奉天停車場前の滿鐵所有家屋を借入るゝ事に決定したりと

●朝鮮鑛業會 三十日に發會式

朝鮮鑛業の發達を圖り鑛業家相互間の親睦を厚からしめんとする趣旨より計畫されし朝鮮鑛業會は既報の如く最近小林藤右衞門氏等主として其創立に關する事務を掌りつゝあるが寄附金の申込みも略豫定に近き額に達し其他の諸準備整ひしを以て來る十月三十日午後其發會式を京城ホテルに擧げ役員の選擧を行ひ同夜朝鮮ホテルに在京有力官民約三百名を招待し披露宴を張る事に決定したり因に同會の事務所は目下近く空家となるべき某會社所有の家屋を借入るゝ計畫にて其交涉中なるが又同會の機關雜誌は多分明年一月より每月刊行する事となる模樣なり

●大郎の二百二十日

大郎地方に於ける二百二十日は早朝快晴なりしも午前九時頃より曇天と變じ更に同十時半頃より微雨斷續し風は東南の軟風ありしのみ概して平穩裡に經過したる爲め從來大體に於て順調に推移し來れる天候及び氣溫等より推測し大郎附近に於ける本年の稻作は增收疑ひなかるべしとて農民の喜び一方ならず（大郎）

西鮮一巡り 地方銀行と黑鉛　別府生

▲平壤中流階級の一部分を以て組織し居れる貯蓄組合は、組合員の出資を纏め、之れを貸附けて年々相當の成績を擧げ、又若干年の間に相當の勢力たり、然るに近時該組合を解散し資本金三十萬圓の新銀行を設立すべしとの議あるものゝ如く候 ▲之れも平壤の發展に伴ふ一產物として宜しかるべし、內容等は詳聞するの機會を有せざりしも、要するに地方銀行として中產者以下を對手に銀行業を營まんとするもの、現に平壤には特殊銀行たる、平安農工銀行は無之候、乃ちかゝる銀行も今後の平壤には必要に候はん乎 ▲平壤に諸工場の續々設置を見んとする時、最近既設某工場に鮮人職工の小ストライキを見たるは注目すべき現象と存じ候、然も其の結果が勞働者側の勝利となりたるは見逃すべからざる點ならん、今後の平壤は勞働者の需用非常に增加すべし、されば此種の不祥事を傳染せしめざるやう、當局も工場經營者も常時留意するの必要あらん ▲某工場に於けるストライキ問題の眞相を聞けば、職工側の主張に尤もな點もあるやうに候、乃ち職工の受負たる勞働賃金の標準を、該工場は近來以前より引下げゐたり、而して物價は狂騰せり彼等が賃金の復舊……を求むるは無理と云はれざるべく候 ▲西鮮地方に於ける黑鉛熱の旺盛に就ては屢々京日紙上に報せられ候、此際世界大戰に於て米國の禁鐵より黑鉛の前途を悲觀するものあり、其等の言ふ所によれば米國鐵類禁輸の結果は、內地造船鐵工界の死活に關するものあり、目下の所禁鐵の緩和は俄に望み難きに付、鐵工の旺盛に伴ふて需用せらるゝ朝鮮黑鉛の前途も悲觀の外なしと云ふにある如く候 ▲果して說者の曰ふ如くんば、朝鮮黑鉛界の大問題たり、而して西鮮地方の受くる惡影響少なからざるべし然も事實は正反對にて何等將來を患ふる必要なしとの事に候、乃ち黑鉛專門家龜井武三郞氏の語る所を左に略報仕り候 ▲黑鉛の用途は銑鐵を精鋼するにあり、朝鮮黑鉛の內地に移出さるゝ分は殆んど悉く銑鐵を鋼鐵とするに用ゐられ居れり、而して米國の鐵類禁輸を日本にて喧ましく騷ぎ立つるは主として鋼鐵を目差し居れり、乃ち米國の鐵類禁輸解除望みなくんば、內地にては鋼鐵を殆んど無限に要する關係上、有ゆる手段と方法とにより銑鐵の製鋼を企圖すべし、現に既に其傾向あり、米鐵の禁輸は內地に於て朝鮮黑鉛の需要を增激こそすれ、何等減退すべしと想察するの材料なきなり……と ▲恐らく然らん、西鮮數百萬の黑鉛從業者は趣を安んじて可也、唯、餘りに其の採掘旺盛にして出貨の多き結果、朝鮮よりの供給內地の需要を超過せしやと思はる、遂し內地の黑鉛需用增進率は速やかなれば也、此點に考慮を加ふべき必要有之候はん ▲西鮮主要地一巡の結果、尙ほ記すべき事多々有之候も餘り永くなるも如何と存じ此邊にて切り上申候（終）

●向阪技師歸鮮

水原模範場技師向阪幾三郞氏は十一日朝入港連絡船にて上陸同十時三十分發列車にて水原に歸任せり（釜山）

●藤原紡織調査員

朝鮮紡織會社工場敷地調査の爲め來鮮中なりし同社技師藤原林平氏は十日來釜し十一日釜山鎭に赴き水盤の調査を爲し同夜出港關釜連絡船さくら丸にて歸東の途に就けり（釜山）

●森川十八銀行釜山支店長

十八銀行釜山支店長森川新吾氏は過日來腸窒扶斯に罹り府立釜山病院に入院療養中なりしが遂に十一日午前三時長逝せり同氏は高知縣の出身にて神戸高商卒業後同銀行に入り仁川、木浦の支店に勤務し數年前森常吉氏の後を襲ひて釜山支店長に就任したる人なり（釜山）

〔鎭海〕

▲秋漁共同販賣 昌原郡の一部と金海郡より成る秋漁共同販賣は去二日密陽に於て施行せしが特等八十一圓一等七十四圓より三十四圓十錢迄の價格にて七十餘名に取引されたりと▲鎭海の赤十字 最近の調査にかゝる鎭海市の赤十字社々員は內地人にて特別功勞社員一人通常社員四十九人正社員百八十一人朝鮮人正社員四十九人特別會員十四人通常會員二百三十一人婦人會員八十七人計百一八人なりと云ふ▲八月中の貿易 鎭海八月中の貿易額は移出七萬五千三百八十四圓移入四萬五千八百八十九圓出十一萬五千八百七十三圓にして之を前年同月の盛況と稱せられし七月に比し約二萬圓餘の增加にて前年同季に比し七萬圓餘の增加を示せるが若し此勢にして向上せば沈滯せる鎭海も案外繁昌に値すべしと▲家屋取拂 鎭海市街は海軍の港灣設備當時一時の妄想に驅られて建築せしもの多數なりしを以て最初は需要を超過するに至り斯つて最初より一度の住人もなく空家のまゝ今日に至れるもの多數なりしが同市街地が未だ海軍の支配下にありし際は濫りに取毀しを爲さゞる約定にて建築せるを以て已むなく空家のまゝ放置せしも總督府の所管に移りてよりは取毀し差支なしとの事となりしが爲め左なきだに損耗を重ねつゝありし家主は之を好機とし爭ふて家屋の取毀しに著手せるより昨今の鎭海市內は每日十戸以上の建築物取毀しあり此勢を以てせば本年末迄には全戸數の約半分は取潰して他に移轉するに至るべき模樣なりと云ふ▲昨今の天候 當地方は一日以來雨天續きなるが時々强風吹くも操作を害するまでに至らず多分十一日の二百二十日も無事なるべし

●正誤 十一日夕刊一面所載「兵器製造所設定計畫」と題する記事中「酒井正一」とあるは高井正之の誤りに付訂正す

人事消息

▲平壤兵器工廠職員十二名 十一日內地より平壤へ通過
▲山本好造氏（元山農業支配人） 十二日午前元山へ
▲岡崎德太郞氏（鎭南浦商業會議所） 十二日午前南京へ
▲森下長藏氏（大阪實業家） 十二日朝入京朝鮮ホテルへ
▲伊藤孝三郞氏（伊藤商會合名社員） 十二日朝入京福尾旅館へ
▲伊藤八郞氏（同上） 同上
▲安田善吾氏（東京農業家） 同天眞樓へ
▲富山虎三郞氏（鎭海農場主） 同上
▲野口仲一氏（元山土木出張所技師） 工事打合の爲十一日出府を命ぜらる
▲永井恪夫郞氏（仁川土木出張所技師） 同上
▲岩城信太郞氏（釜山土木出張所技師） 同上
▲富永正義氏（專賣課所屬出張所技師） 十一日附出府を命ぜらる
▲池邊朝生氏（總督府技師） 同日附京畿道へ
▲柳崎藤氏（事務官） 同日附仁川

彼れ此れ

○栗子市に上り、葡萄は累々として甘露滴る。季は秋に入つて、天高く地厚、爽涼の氣粹神に滿つ。吾等は春花の美よりも、秋露の玲瓏たるを愛す。禹錫に非ずと雖も「自古逢秋悲寂寥、我言秋日勝春朝、晴空一鶴排雲上、便引詩情到碧霄」殊に朝鮮に於ける吾等一層此の感禁ずる能はざる也。秋なる哉、秋なる哉。

○露國の安危を一身に擔ひ、其の興亡を叱咤しつゝありし、ケレンスキー首相と、コロニロフ將軍は、遂に相衝突して、首相は將軍を、叛逆罪に問はんとす。兩雄並び起たざるは、古今其例多し。然ど吾等、露國の爲に悲む。斯くて露國の前途は更に倍々暗膽を加ふるを。獨り喜ぶものは、唯獨逸あるのみ

○馮總統夫人逝くと。夫人は江蘇宜興の產、故袁世凱の媒酌を以て、馮氏に嫁す、當年四十五歲。支那婦人としては、珍らしき意思の人にして、馮氏の有する新智識は、多く夫人に受くる處なりと稱せらる。支那は益々多事にして、總統の意を用ゆる、亦愈々多からんとする秋、此の內助を喪ふ。同情禁ぜざる也、惜哉。

精巧優美　朝鮮製の漆器

内地產に比して劣る所が無い

◇◆中央試驗所及び京城漆工會から東京化學工藝博覽會に出品する漆工器四十一點◆◇

朝鮮總督府中央試驗所から東京化學工藝博覽會に出品する漆工器二十一點及び京城漆工會員中から出品する二十餘點の漆器は這回總督府の手を經て近く發送する事となつた中央試驗所漆工主任木村伊三次郎氏の談に由れば今回中央試驗所から

▲出品する漆器は　普通乾燥法に由る漆器と高温度乾燥法に由る漆器とである普通乾燥法漆器は從來製作し來つた方法に由る漆器であるが高熱度乾燥法は多く陶磁器及び金屬類に漆を塗り高度の火力を以て乾燥せしむる方法であつて中央試驗所で發見したものである出品中の三個の花瓶は何れも此の方法に由つて製作したものである此の方法に由つて塗つた漆は殆どエナメルの如く容易に剝落する事はない、出品の素地は何れもポプラ材を應用したが之當試驗所が始めての試みである從來ポプラは僅に柚木位に使用する他は殆ど其の用途が無かつたが當試驗所で漆器の

▲素地として試みて見た處其の成績は案外良好であつたポプラの▲地材料を乾燥する際に少しく特別の注意を拂へば其後は素地の狂ひが無く且つ材が輕いから漆器の素地としては理想的のものである、今回の出品にはポプラ材を素地として盆皮碗を製作したもので從來朝鮮の漆は其の質劣等にして内地漆の第三流品以上の物を產する事は至難であつたが然かしながら昔時に在つては朝鮮は漆器工業の隆盛なる時代が有つた事に鑑み

▲其の漆質の劣惡と產出額の減退しなる原因を探究したる結果其の採取法の不完全なる事漆器工業の不振等に原因し其の採取及び製漆法を全然内地式に法れば朝鮮漆は決して内地產に比して聊か遜色なく優良なる吉野漆に比較するも殆ど勝るとも劣らぬ程の良質の漆を產出する事を發見した今回の出品は何れも朝鮮產の漆を用ひ別に朝鮮產漆の標本をも出品する事に成つて居る出品は試驗所製作品の

▲一部を除く外は主として螺鈿漆器であつて何れも精巧を極めて居る試驗所以外の京城漆工會員の出品者は櫻井源光、井尾福松、石原柱、金成圭、任興鮮、張完植、李炯淳、方泰植の諸氏であつて出品の主なるものは螺鈿模樣に寫眞を嵌め其の表面を透明漆にて塗り込みたるもの螺鈿菊模樣杜撰、同机、衣桁、朝鮮式膳、硯箱等であつて試驗所の高熱度乾燥漆器は朝鮮漬物壺に地を錆織色として古代模樣を樣々の象嵌を以て現はした五個精巧なる大花瓶外花瓶二個等何れも美事なる物である

中央試驗所より化工博へ出品の漆器

堀尾大僧正

十二日朝高麗丸にて著　東京芝增上寺貫主堀尾貫務大僧正は隨行長中野徹運師以下隨員五名を從へ九十歳の老軀を提げて朝鮮及び九州巡錫の途次十二日午前九時下關より高麗丸にて釜山著、辨波旅館に小憩の上、同十時信徒及び稚兒數百名の行列に圍繞せられ大廳町知恩寺に赴き堀尾大僧正は同寺にて建立二十年記念式を親修し十三日より十九日まで信徒有志者に五重相傳を親授し二十三日夜連絡船にて釜山出發九州巡錫の途に就く筈なりと（釜山特電）

人の家を三轉賣

愛媛縣宇和島町生れ京城樂園洞居住菅八郎治（五七）は大正四年三月中黃金町三丁目に居住中京城電氣會社の十燭電燈を引き込みたる後密かに十六燭光球を使用して電流を盜用し其後櫻井町二丁目川西彌三郎が都合上所有の建物三棟（三百八十圓）を八郎治の名義となしあるを奇貨とし之を擔保として本町二丁目奧商藏より五十圓借用したる上更に之れを舟橋町横山銀四郎にも抵當に差入れて二百圓を借用し三度目は長沙洞の裴興瑞に百二十七圓に賣却して遊興消費したるが尙外數名の内地人より一寸貸せさて衣類金指輪等を騙取して入質し何れも消費したること發覺して八郎治は鍾路警察署に檢舉され取調べの上檢事局へ送らる

留置場から脫走

▼間もなく逮捕さる

江原道原州郡本部面上洞里鄭先敬（二三）は窃盜犯人として逮捕され京城鍾路署に向け遞傳護送の途中八月三十一日午前六時頃京畿道楊平郡遞送分隊見池岩派遣所の留置場に留置中板を外して脫け出し逃走したること看視の巡兵が發見し直ちに手配して犯人追跡中同日午前九時頃二里を隔りたる廣州郡實村面三同里にて逮捕さる

金指環十三個を窃んで逃ぐ

咸北清津大和町居住印章彫刻業若田訓雄（三〇）は八月二十六日午後七時頃同町水町又一方にて金指環十三個外貴金屬二點（二百六十八圓）を窃取し犯罪の發覺を怖れて同町岡田繁次方に至り自轉車一臺（三十圓）を時間借の名義に詐取して漁大津に乘り逃げしたるを手配に依り間もなく漁大津警官派遣所の手に逮捕目下取調中

連絡船と列車内に

警官を乘込ませて警戒

内地に虎列拉蔓延の兆みるより朝鮮にても是れが警戒に努め居れるが釜山警察署にては十三日より連絡船内に十四日より列車内に警官を乘組ませて警戒する由

狼狽して踏み殺す

全南海南郡松旨面生れ當時住所不定の梁斗目（二八）は豫て思ひを掛け居たる莞島郡外面實津里李致旭の妻尹芙蓉を辱しめんと八月廿九日夜李致旭の不在を窺ひ同人の宅へ侵入せしが尹芙蓉の爲めに大聲を立てられたれば大に驚き逃出さんとする際傍らに寢せし李致旭の長女李小兒（生後十箇月）を踏み潰して絶命するに至らしめ芙蓉の驚きたる隙に乘じ何處ともなく逃走せしより目下行衞探中

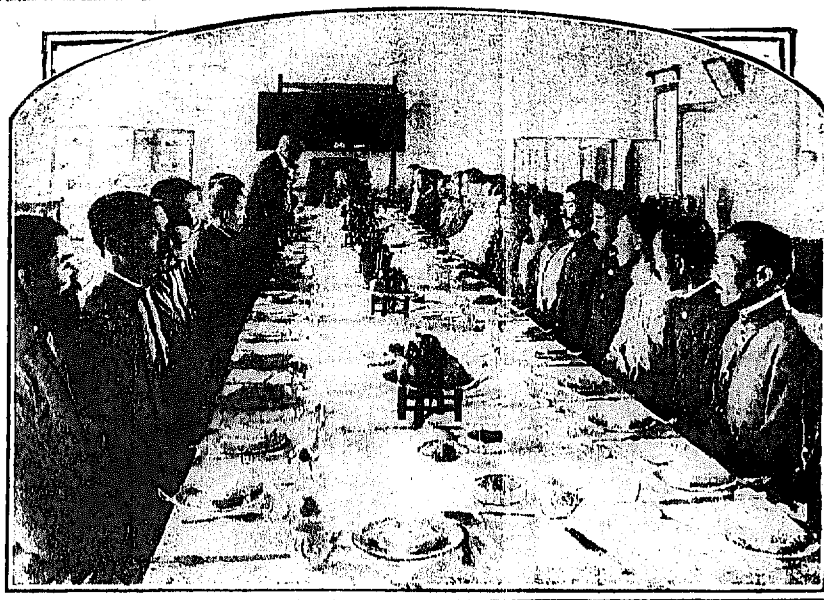
出火

十二日午前七時十分頃京城仁寺洞百三十番地洗濯業吳萬福方竈の焚火より發火炊事場内部及び天井の一部を燒失したるのみにて常備消防隊水管自動車出場即時消止む

夜襲

京城鍾路警察署管内にては近來醜業婦增加の傾向あり其の弊害を一掃せんため鍾路警察署にては十一日午前二時より四時迄多數の警官一齊に管内を狩り立て内地人三名朝鮮人五名の現行犯人を取押へ

いその、加藤清太郎、吉武宗一、北川欣次郎、板久保、加藤登、中九彦一、田中せい、林田直人、今井武八、吉良義雄、推岡禎、田和田德、横田樹、立花とめ、宮本彥左衛門、同せい、岡井夫、水野［illegible］



福岡縣教育團

入京中の福岡縣教育家團一行四十一名は十二日早朝より旅館原金を出で、商品陳列館より女子高普、鍾路小學校其他を視て午前十一時に相應普通學校に行き細さに鮮童教育の狀況を見學した、此處で長谷川總督より午食の饗應あり小田編輯課長等が接待をし食事中種々談話が交され一時半には景福宮の方へ廻つて行つた

寫眞は午餐席上根岸團長の謝辭を述ぶる所

流行病

京城高等普通學校寄宿舍居住生徒古賀孝吉（一二）は十一日、十二日午前中赤痢に罹り石川せい（一八）は十一日赤痢、橋南洞百六十六番地居住不定金允汝（六）は十二日午前黃金町二丁目にて行倒れ居たる檢疫の結果赤痢と判明避病院に收容、十二日中に全部消毒を終り生徒は十日間の臨時休校を斷行さる

決め分に附したるが何今後も繼續し一層取締りを嚴重に斷行すべしと

支那を觀て（二）

木村增太郎氏談

（此の項は山口高商の支那留學科で研究したところを主として聞き記してみた）

今日の日本は鐵、棉花、羊毛、米、砂糖等に於て外國にたのまねばならぬ關係から英國にも米國にも頭があがらぬこれは情けないはなしである、先づわれ〳〵が日常使ふ棉にしても一年約二億二千萬圓の棉花がみな外國から輸入されつゝある、その中朝鮮から移入するものが僅に百十萬圓餘に過ぎぬ。而して以上の棉はみな印度、米國、埃及から輸入されるのであるが、支那から持つて來る棉は一小部分に過ぎぬ。假りに印度や米利加が賣らぬといふことになれば何うなるか、實に寒心すべき問題である、日本でも此の點に氣付いた人は早くから臺灣に棉花の栽培を試みた、しかしそれは何れも不結果に了つた、臺灣では颱風と虫害が邪魔をする上に主要產物の砂糖の耕作地まで減じて獎勵するにも及ばぬといふ事になつた

それで、將來日本の求むるところは支那を措いて何處にも無い、支那の棉花は年作が六億萬斤或は八億萬斤と云はれて居る、これは年の豐凶、風雨蟲害の如何にもよるが產地は主として江蘇省を中心とし浙江省、湖北省、直隸省、山東省の地方であるが而して土地の肥えた所では殆んど野草同樣に育つて居るされば之れを以て印度の三十億萬斤、米國の六十億萬斤に比較すると殆んど云ふに足らぬものであるが、若し支那にして獎勵の法を講じたならば遙かに印度よりは偉大となり得べき土地を有つて居る。

若し支那の耕作地をひろげて製產を增したならば將來東洋に要する棉花は支那を以て自作自給が能きるかも知れぬ、唯だ支那棉の缺點とするところは品質の惡いことである、支那棉は纖維が短かくて太く、これを以て細糸を紡ぐことがむづかしいのである。幸ひ東洋方面では生活程度が低いから、餘り細糸の需要がないけれども、若し細糸をとるとしてもせい〴〵拾二番手以上はむづかしいこれは支那に農事の改良を施すやうな政府の出來ざる限り致方もないが何とかして一日も早く改良したいものである

尤も支那も近年非常に覺つてきて一昨年からは政府直營の試驗所も出來るし、各地共米國の海島棉種子を輸入した。しかし種子は良いが支那では二三年で退化して了ふ、これでは支那に適應した新らしい種子を造るより他はない、これは科學的の研究と少からぬ經費と日子の要る問題であるが現に上海の外國人の組合などでは盛んに研究中である

讀者文藝

（每週一回土曜日締切　賞品分配）

▲甲　［illegible］

乙「一宮上への道中嚇かし困るだろー」けな

○甲「山頭に月見無き死體がある」

▽「日暮一其時々の事」

（二等）深川　新參生

▲換球「大阪では一今度お燈油から出品を作る事を發明したさうだ」　下女「それは蛤が黑くなる」

▲食物の好き嫌ひは食事の時初めに箸を着けてみれば其の人の嗜好がわかる、［illegible］

抜作「或る料理で家の裏口に［illegible］」

大島村　秋　郎

◉氣の毒なる一家へ

太平通石川彌三郎一家へ其後の同情金左の如し

▲二圓　世仁川本町河野竹之助氏

商況

債券現物特電

（十一日東京）

公債直取引

深川在米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉三品更に跳返す

大阪三品前場は二百六十一圓七十五錢と更に反發し綿布又龍シー八圓五十錢の高報

◉牛皮は持合ひ

◉大皮小皮

移出口の買望　小皮は目込み八十圓、大皮の正味七十七圓見當

◉新叺の騰落

超昨年の最高値

中値は二十二三錢　處々保合

製造增加　鮮内に於ける入向は七八割方の値

◉陶器次第高

約三割方内地

高値

更に一割以上の値上　入間に於ける陶器の需用激增

◉仕入服日海高

殆ど九割餘の暴騰

在荷缺乏生地の賣放

◉天候と正米

◉三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人

◉板硝子好況

十九圓の新高値逆に中味改

關係上何時保し難し　工賃や燃料高の値上

下關相場

生魚市場

仁川期米

十二日前場

大阪天候時天前寄二十圓八十六錢と昨止り九錢安入

◉仲買店

仁川米豆取引所仲買人

錢沸騰稍混戰裡に强硬

成行

京城正米

减退地場在米漸次殆ど賣り

仲買店

仁川米豆取引所仲買人

南大門の廻穀

物出盛り眼先向徐々相場引締り

釜山穀物

市場寄聞

▲强硬下詰る

▲期近强硬

▲前場の高原因

部に於て先限を買ひ强氣筋の一部の作戰か外に何等根底ある保合は利用し或一非

▲變動前提乎

▲天候依然たり

確實　迅速　仁川米豆取引所仲買人　［illegible］

仁川米豆取引所

十二日の十一月限

◉馮大總統夫人　◉連絡船上陸客　十一日午前八時釜山入港さくら丸一二三等客　募集規程　天氣　小雨後曇り

◎新畫の賣れ行きが好い 大金を投げ出すのは矢張り成金

近來成金が驚くべき高價を拂つて古畫骨董を買入れて居る事は誰でも聞いて居る處であるが彼等は近來頻々と贋物を摑ませられるのに懲りて

▲古畫よりも確實な新畫の方へ趨る傾向がある現に九日の二科展覽會の招待日には劈頭に正宗得三郎氏の『琵琶の海』と『蘭醬』それに津田青楓氏の『芽出しの頃』の三點が瞬く内に賣約濟みとなつた、近年二科展、文展、院展などが年一年と

▲人氣が盛んに成つて現今では東京市になくては叶はぬ年中行事の一つになつた美術界に於ける新畫の人氣賣行きは素晴らしいもので此のまゝで行くと成金の盛んに增加して行く今年は素晴らしい景氣を見るだらうと

▲一般に豫想されて居る、美術商炎文社の主人の話に由ると二三年來古畫の値段が非常に高くなり又贋物が多くなつた爲め元來鑑識のない成金は一寸手を控へそれより新畫に良いものを買ふと云ふ事になり新畫の内では雅邦の物が矢張り一番値が出て此の間も

▲尺五の絹本が五千圓と云ふ値で賣れた、雅邦に次では直入和亭などが好まれます生きて居る人々では京都で栖鳳、鐵齋、春擧、東京では玉堂、廣業、觀山等が一番よく賣れ値段の點から云ふと栖鳳の畫が第一です此の人は餘り澤山には書かないが描けば親切な描き方をするので他の人達に比べると

▲非常に値が好いのだと思はれる、此の頃では値段は何程でも出すから良いものをと云ふ人ばかりになつた、其處に行くと文展院展などは畫家自身が自分の格を上げる爲めに一生懸命に良いものを描くから開會を待つて何んでも

▲一番良い物を手に入れやうと待ち構へて居る人達が澤山にある』と又三越の美術部主任の談に『新畫は一流の畫家のものでさへあればいくらでも賣れる文展派だの院展派だのと云ふ區別はない一流の人の畫はとても賣れる程は描き出せないらしい

▲殊に京都の栖鳳さんとか鐵齋先生のものなどは金に絲目はなく飛んで行くと云ふです、展覽會に出すと二時間もかゝらぬ内に賣れて終ふ近來又南畫も相當に流行し翠雲芝田碎岩などのものがよく賣れ、若手でも美術院の靭彦、古徑などと云ふ人は

▲餘り描かない爲めか割合に値がよく賣れる、商人向によく賣れるのは玉堂、廣業、觀山大觀など、云ふ人々で買手は各階級を通じて居るが大金を投げ出すのは矢張り成金で居宅とか別莊とかを新築して床の裝飾などにすると云ふ向である』

◆大繁昌の關釜連絡船 ▽お客さんは例年の七割以上

關釜連絡船客の乘降者は歐洲戰亂以來益々增加しつゝあるは屢々報道する如くなるが一方日本内地の一般經濟界の勃興を來したるに伴ひ各投資家は植民地の狀況調査の爲め鮮滿視察者多く又朝鮮よりは鮮人の内地出稼ぎ團體の渡航する者あり或は歐米人は航路杜絶の結果東清鐵道より滿鮮連絡鐵道を經由し日本内地及び各國に往來する者益々頻繁を重ね本年の如きは同航路開始以來未曾有の激增にして今其比較を對照すれば大正五年一月より十二月迄に乘降總員十七萬八千七百六十一名内乘客八萬五千九百四十一名降客九萬二千八百二十名を算す然るに本年一月以降八月迄即ち年三分の二にて十七萬七千四百五十五名内乘客八萬八千客六十七名降客八萬九千三百八十八名とす之れを前一箇年に比すれば僅かに一千三百〇六名の少きのみにて假りに本年中を豫側すれば約三割の增加を見るに至らん今左に月別比較を掲ぐれば

▲一月以降八月迄の乘降客

		大正五年	大正六年	增加
一月	乘	七、八〇一	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]

		内地人	朝鮮人	支那人	歐米人
四月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

差引六萬三千九百十六名の增加也

▲五月以降國別乘降客

		内地人	朝鮮人	支那人	歐米人
五月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月	乘	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	降	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

期の如くにして一月以降内地人に於ては平均率の增加なるが七八の兩月は各官吏各學校職員生徒等が暑中休暇の時期を以て各地よりの視察往復增加せしと一般交通の頻繁なるに因る又鮮人乘客の多きは五月以降の現象にして例年月に比すれば約倍數を算す之れ全く日本内地の經濟勃興に依り各工業賃金値上げと共に内地人勞働者の不足を告げたる結果勞働賃金の低率なる鮮人勞働者を使傭せんと各工業家が募集して渡航せしむるに因る假歐米人の一般往來は前述の如くなるも五月以降の增加は降客のみにて例年月に比すれば七割以上倍數を示す之れ全く露國内に動亂の惹起せしより南北米に出稼ぎ居住せし者等の歸國に際し鮮滿の交通安全なるを利用し通過する者多き結果に起因するものなり

◎故乃木將軍五週忌 大川、谷口二氏主催にて祭典執行

中樞院參議大川榮次郎氏は日清日露の兩戰役とも奇遇にも故乃木將軍附の馬卒たりしが氏は勳六等の滑勳者にして故將軍の生前將軍より恩顧を受けしこと尠なからざる關係上十三日は恰かも故乃木將軍の五週忌に相當するより自身主催者となりて京城神社に於て祭典を執行することゝなりしが玆に又た京城神社の谷口禰宜は曾て故乃木將軍の評議員たりし皇典講究會の...

◎神職會に訓示 九月八日より京城神社々務所にて開催中の朝鮮神職會第四回大會は來る十四日終了の筈なるが長谷川總督は十二日午後總督府に谷村幹事以下を召集し一場の訓示を試みたり

◎船の下敷に 下關市日本水產會社所有汽船沼島丸（百噸）は慶尚南道安郡智島西岸の千潟地に乘り入の爲め多島海に在りしが去る四日上げ引き下し作業中五日午後同船油差古角幸太郎(三)は誤つて船の下敷

◎日蓮宗野外講演 旭町三丁目日蓮宗護國寺にては十三日午前九時より日宗婦人會主催にて野外講演を試みる等にて東大門外東廟、元興寺、地藏庵、青龍寺、開運寺、蓮華寺、神興寺、藥師寺、青岩寺、華溪寺等を遍覽し加藤主任の歷史地理に關する講話ある筈

■物騒な男　自稱東京府某郡下新原新次郎(二六)は三十一日夜日光郡廳の滋賀前山村氏の邸内に押し入り座女神山さく(一九)大門の(一七)の二人を脅かし一室に押し込め...

■天に春を盛る 大分縣大分郡...

■若夫婦の情死 兵庫縣...

■恐ろしい寄婦 廣島縣比婆郡...

■狂女二兒を殺害 横濱根岸町...

■又も若者情死 鹿兒島縣...

■大割腹節句 ...

◆浦の雫

きとなりて郎死を遂げたり死體は傑船小宮丸にて魔水港に運び假葬せり偶然沼島丸は五日無事浮揚も破損箏の被害無かりしと

◆熱い涙 △可憐な少女の悲慘な告白 △彼れは無言で押し戴いた

▽憐れな一家▽訪問記

毒のやうな小雨がショボ〳〵と降る十一日の午後、太平通の『憐れな一家』を訪ふ、親しく府廳から寄贈の金品を屆ける爲めである、京城通信の橫、共榮社と云ふ看板を揭げた門を潜ると直ぐ右に曲る路がある、突き當りは

▣穢苦しい 亞鉛葺の平家、小さな硝子戶がピシャリと閉まつてゐる。外から見るからジメ〳〵した陰氣な家で『憐れな一家』の主人公石川彌三郎の住居は其の一番奥にあるのだ、二三度案内を乞ふた後、中から七ツ八ツ位の女の子が出て來たので、念の爲め一應聞いて見る『石川といふ家を知らない?』『此處』『お前さんは

▣石川の娘 さんかね?』『ゑゝ』

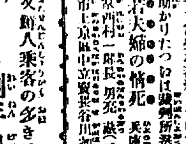
一少女は瘦せ細つて年よりもませて見えた、入口は臺所になつて居て欠けた瀨戶や皿小鉢が並べてある。頭をかゞめながら家の内に這入ると一種異樣な臭ひがプーンと鼻を衝く、三疊にも足らぬ室の三方は全部壁で低い屋根裏に明り窓が一つある、其の明り窓から射す薄暗い光線が痛みほうけた彌三郎の横顏を

▣痛々しく 照らし出して居た、病人の枕頭では二つに五つ位の血色の悪い男の子が親の病苦も知らずに何か盛んに悪戯をして居る、妻が抑へて可愛らしい。今日は！と云ふと彌三郎は微な聲で此方を向いて口へ手を當てた。何かしたが、可哀相に聲が潰れたと見えて聞き取れない、仲々好くないと云ふ事だ。

▣襤褸して 雨がシト〳〵降る頃、片隅に積んである煤けた行李と盥が一隅に寄せかけてある、あれが此家の家財道具だらう。記者は思はず胸が迫つて

▣親子五人 の生命を繫ぐ爲めに彌三郎どは話も出來ないので試みに『母ちゃんは?』と訊いて見ると『何處へ行つたか知らない』との事、恐らく血の汗を搾つて居るのであらう『お前さん困るだらう?』と問へば『困るわ、だつて堅い御飯なんか此頃食べた事がないもの』あゝ悲慘な告白よ！果してこれが七つか八つの頑是ない子供の使ふ言葉であらうか哀れな家庭に一しほの憐れを添へて、聞くも

▣涙の種で ある、記者もう此上退屈する勇氣はない、去らばと携へて來た金品を取出し『是れは京城日報讀者からの寄贈です、どうかお屆けいたします』と彌三郎の前に置くと彼は衰へ切つた半身を起こし、微音の聲で何度となく其の紙包みを押し戴いた、途端に熱い涙がハラ〳〵と溢ぼした。（西村生）



▲炒肉絲 これは原名をナヤカニヨツスと申します支那料理で家庭で出來る簡單なものであります炒肉絲と云ふのは豚を細長く切つて油で炒めるのでありますが先づ豚を細かに切つて鹽をふつて置きます別に蔥を細く切つて胡麻油で炒りこれを皿に取つてから豚の肉を炒りよく炒りましたら蔥を一緒に入れて少し別に醬油と酒で片栗粉を溶かした汁をそれにかけてよくかき廻します初めによつて胡椒をふります胡麻胡椒は本來の支那料理にはありません

◎大の相撲 來る十三日より三日間釜山座に於て東西の土佐名物犬大相撲を興行する筈にて總て東西に組分け四本柱の土佐の内に名乘りを揭げ兎ら天下の力士同様に勝負を決する由にて又見ものと云ふべし初日の取組左に

東方 / 西方

東方		西方	
大關	二所ケ關	大關	勇駒
關脇	鬼山	關脇	大刀山
前頭	大龍狗	小結	土州花
同	朝天川	前頭	金之川
同	銀日勇	同	梅天狗
小結	玉勝山	前頭	早森
前頭	加山	二枚目	玉ツ島
二枚目	綠山	三枚目	巖岩
同	男車	同	三櫻
同	横	同	初

此外お好み關犬數番取組せ外

◎助産婦及び看護婦募集 水原慈惠醫院助産婦料及び看護婦科生徒を目下募集中にして志願者は十月五日迄に願書を提出すべく試驗は十月十日午前九時院にて施行する由

◎本能寺(水標橋通り) 十二日午後八時より婦人會『教育か職業か』日蓮と弘法』如是講師、『社會經濟的生活』吉村講師十三日午後八時より研究會『立正安國論講義』如是講師『一日蓮上人の内面的研究』吉村講師

可演藝案内

本町五丁目 稻荷座

浪花節廳用劇高砂家中村福高一行 △本月十二日より毎日午後六時開演 △十三日の替り外題

▲新版白糸口說き（鈴木主人全通し） ▲忠々本館を以て千秋樂

有樂館

東京小林商會特約一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約

早川演藝部直營 活動寫眞常設館

▲日曜、祭日は晝夜二回開場 ▲御徳用回數券發賣 電話（局上）五九七番(局下)二〇五番

九月七日より特別大寫眞提供 實寫ユニヴァーサル週報 米國ビクター社 滑稽「サブ孃」 米國レツクス社 ○人情劇「死の出」全二卷 米國ユニヴァール社 活劇「サア戰ひ」

黄金館

電話二六三七・二六六 天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店

△九月八日より全部差替提供大寫眞 ○新派琵琶劇『岩清水』 ○人情悲劇『ふたりの娘』（一篇）五卷 ▲米國パテー會社大傑作映畫三大寫眞の一 ▲洲の五絃 ○魔？人？連續大活劇 ○舊劇「不動金剛丸」全四卷

京城本町 壽館

電話一〇五〇番

浪界の女王吉田小奈良一行 ▼替り九月十二日五日目の讀物

▲中江藤樹(吉田文子) ▲飛行青年 ▲貞女お菊（吉田 ▲孝子安吉 ▲水戶黄門記 ▲大石山科妻子別れ ▲不破數右衞門 ▲吉田小奈良

日本活動寫眞株式會社特約代理店

櫻井町 大正館

電話八七三

九月七日より特別大興行 三都に率先し封切公開

△舊劇『美幸天狗』 △新派『嫁入』 △西洋劇 △實寫 △喜劇

發賣禁止 急告

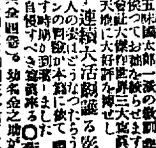
九月十一日附大阪朝日新聞は其筋の都合により發賣頒布を禁止せられ候間本社に於ても印刷の都合により配達致し兼ね候に付御諒承被下度此段讀者各位に奉急告候也

大阪朝日新聞通信部 電話三九七番

皮革製造販賣 牛皮 山羊皮 高價買入 京釜線大田 大田皮革株式會社 電話長二四番（タヒ）

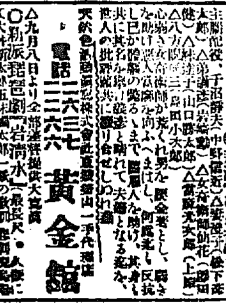
新田式 耐水調帶 新田帯革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店 （定價表御申込次第送呈）

關西デー番ヨク勉強 ショウ 化粧品石鹼 問屋ハコ、伊勢勘号 大阪東區南久寶寺町三丁目 電話南長二八四 振替大阪二一五六番



平壤栗 初荷は廿日より 新栗出初めます 毎年の御得意様に御知らせ申ます 京城南大門前 電七五九番 池田商會 振替二四七番

おまちかねの なにわ形 發賣元 大阪東區南久寶寺町貳丁目 中川武之助 全國到る所の小間物店にあり

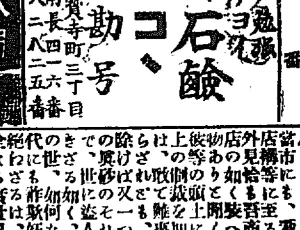


本年流行 丸髷新形賣出

職業 日韓政府特許 貸與多年經驗 特の輸出紙製玩具原紙 數包裝紙具加工 無休遠近男女誰も出來る熟練日收一圓位 說明付見本郵十錢(特約店募集) 東京市本所 郵便本局前 上田總本店

くせ毛 縮れ毛赤毛等にてお困りの方は御相談下さい 手前入の上王念お申越しなさいませ くせ毛の私が今では皆様から羨かれる程美しいフサ〳〵した毛髪となることの出來た世間に類のない不思議によくきく私の實驗を御知らせ致します 私は假名營業では御座いませんから度々廣告は出しません お忘れなさらぬ内にすぐ御申し越し下さいませ 東京上野池の端七軒町一 安瀬梅子

◎東京の商會の低級な商會を盗用し欺瞞すなど虚偽の商號を盗用し製藥名、器等、容器等を模做し、東京芝口醫藥社等と同樣なる定價を附し、商號を盗用し製品を販賣して世人を瞞著せらるゝ事は大阪朝日報等に……御注意を乞ふ



大阪有田鐵製 門外停車場通り 南大門外停車場通り 吾商號を盜用する詐欺漢 諸彦の御注意を乞ふ

●りん病ばい毒 患者諸君注意 にせドラッグあり

花柳病專門 藥房 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本舖

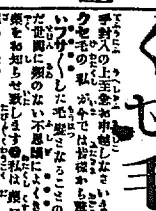
中央婦人病院 京城明治町二丁目（元京城病院下横通）電話二三四

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢 壹錢以上何程ニテモ御預リ申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 振替貯金口座 同 龍山出張所

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ取扱可申候 御便利

露國公債賣出 九日正午締切 日本勸業銀行 債券月賦販賣所

村井蛙齋先生命名實驗證明 かつけ尾崎糠精 販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會 全國藥店に有



●小男も大男となる 人間の脊が器械で伸る人間の體格は大小二百餘個の骨で組立てられ骨と骨との間には軟骨と云つて爲めれば柔勢正しく伸ばせば脊が高くなる軟かい骨が有る全身の軟骨が少しづゝでも伸びたなら脊が二三寸位高くなるは何んでもない今回專賣特許體育伸長器が發明せられ工合も効力も外國製品以上にて世上頗る好評を博しつゝあり此際發明披露のため僅かな實用と日數で完全に自宅探法の出來る詳細圖入說明書をハガキで申込次第無料で秘密郵送す 東京京橋區入船町一ノ一 器械 拡法 所

内科 外科 花柳病 産婦人科 京城南大門驛前 南大門醫院 電話二四五二番

●原鹽流失す 仁川堀力太郎氏所有帆前船發島丸（三十四噸）は原鹽六十噸を積み……部に破損を生じ原鹽は海水の爲めに溶解しさりたるが此れが爲めに損害約二千三百圓に達したりと

（五十六名）村上米藏、同さく、佐藤富吉、同つよ、同福太郎、同さよ、同正夫、同義夫、田村龜吉、宮崎友太郎、小野香昌、阪井たち、高竹ひさゑ、同正、川田栗吉、森田界、同さ以、永江豊丸、同ちか、池野のぶ、佐々木伊三郎、永岡すみ子、高野……、則村周一、須藤久左衞門、葉山……

十一日午後十時釜山入港對馬丸 一二等（十名）瀬戸……、前田猶太郎、伊藤……

左甚五郎

第二十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

御庭係りの太田勘左衛門は女中共の騒ぐのを頻りに制して居りますが、何うして大勢のことで勘左衛門の云ふことなぞは耳にも入れません、夢中になつてお庭を飛んで歩いて居るスルと一人鬼になつた若い女中、他の朋輩に憎まれでもして居りましたものか始終鬼にばかりされて居る、當人も口惜いから一人の女中を一生懸命捉へると、二三人飛んで參りまして他の女中がその手を拂つて振拂らうとする、此方は一生懸命放すまいと帶の所を確かり押へ、片手に今日將軍家が御見物遊ばされると云ふ御手植の八重櫻の大枝へ確と捉へた途端に二三人が無理に振放さうとして、機會といふものは怖いもので、ボキーリと其の大枝を一本折つた、アッと驚いた一同の女中、○「オヤ〳〵まア、大變なことをいたしました」とバッタリ水を打つたやうに靜かになつた、是れを見て驚いたのは太田勘左衛門飛んで來て勘「それだから手前が云はんことではない、惡戯をしてはならんとあれほど云ふのを背す、今日上樣が御覧遊ばされるといふ大切の八重櫻を何といふことを爲なさる、各々は決して其處を動いてはなりません、イヤ誰彼とは云はん、お前方が皆惡いのだ、それに控へて居なさい」と三人の女中を其處へ取押へる、他の女中は道々の體で勝へ逃げて行つたが、取押へられました三人は眞蒼になつて何の言葉もございません、只涙ぐんで居ります、勘左衛門も驚きましたが、何うも仕方がない腹でも切つて死なねばなるまいと呆然として居りまする、時に政右衛門と共に下小屋に來て居りました甚五郎が之を聞いて、何にしろ氣の毒千萬、人の命に係はるといふことを聞いて默つては居られない、何うかして助けて遣り度いものと思ひました、政「さア〳〵皆な靜かにしなければ叶けねえ、もう程なく公方樣がもう直きにお出でになる」と仕手方一同を制しまして太田勘左衛門の處へ進つて來た、政「旦那もう公方樣が程なくお出でゞございますかな、勘「イヤ政右衛門其の事に就て一大事が出來をした、政「何でございます一大事とは」勘「何に他事ではないが、何うも年のゆかん女達には困つたものだ、最前から鬼追を致しお庭を飛び歩き粗忽あつてはならんと幾ら身共が制すと雖も馬耳東風背入れず夢中になつて騒ぎ廻る内に今日上樣が御見物を遊ばさうと云ふ、肝腎の八重櫻を一枝折つてしまつた、もう程なく上樣が成らせられるに此始末何かしたものであらうと當惑いたし居る、右の粗忽を爲せし女中共は一命にも及ぶ事と存ずる又身共も惡く致さば腹でも切らねばならん次第じや、政「へエーそいつはまア大變なことをしましたね、定めしまア御心配でございませうが然し何うもこいつは仕方がございませんよ、年のゆかねお内は前後の考へが無ねえ、惡戯は決してするもんじやアねえが、今更幾ら云つたつて追付かねえ、何にしろ御心配でございませう」と氣の毒で堪まらないからツコ〳〵下小屋へ退がつて來て、政「時に甚五郎、何うも大變なことが今日出來てしまつた」甚「何でございます」政「何に是々の一件で御庭係りの太田さんといふ人が眞蒼になつて居なさる何うも何んともお氣の毒だ、御心配の御樣子、居堪れねえから早々退つて來たんだが、可哀想に惡巫山戯をした女中もまア何れお手打になるんだらう、並で三人四人死なにやアならねえんだが、何うも氣の毒なことだ」甚「先刻俺も聞きましたが何うも氣の毒なことが出來た、何んにしろ可哀想だ、何うでございませう棟梁折れた枝を接木をしたら宜うございませう」政「馬鹿なことを云ひねえな接木をしたからツて花が萎れてしまつた節にやア仕方がねえじやアねえか」甚「それは大丈夫、そんな鈍なことはしねえ、櫻の花が萎れるやうじやア無ねえ、チヤンと咲いて居るやうに見せさへすりやア宜いんでせう、何うです俺に一つ任しておくんなさいな」政「ウム、旨く行けば宜いが」甚「大丈夫だ」

九月十四日 金曜 舊七月廿八日 己未 本命二黑坤 四佛滅

[illegible]

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府明治町二ノ三二(元賞業會社跡) 電話二一〇二番

外科一般 淡尿器科 皮膚科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話西一九番

月やく なきにお困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす 京城黄金町三丁目 山田しづゑ

内科 外科 小兒科 花柳病科 安東病院 京城長谷川町七九(電話七三番) 特に肛門病診療 毎日午前中に限る

△七日の辛抱で出世▽ ▲わきがの美人▼

わきがの爲に嫁入談が破裂して厭世自殺を仕ようとした一美人が最新發見の化學藥を七日間試みて首尾よく出世した實例がある、實にワキガは治らぬものとすれば人間の不幸は此上もないが文明の力は驚くべき化學作用を應用して遂に此病症を退治する事に成功したのである即ち有名な貧藥でも治らぬが我が信頼せる東京の本郷順天堂で創製した化學劑で治せば一週間にして必ず其の奇効に驚くであらう、之を創製する迄の苦心と秘密短期に安全に治す無痛の化學劑となる迄の治療法は詳しく書いた説明書を東京本郷西竹町順天堂から無料で配付されるから病患者は病名を書いて速に同所に申込まれよ

ね小便 又は小便近き人

遺尿症俗に云ふね小便は古來より不治の病と稱され居りしが今回發表せる療法は必ずヨタナル藥劑に依り全快致した方々の感狀が毎日〳〵參り升今回當良藥の發賣者は最良最善の絶對の養生法を二錢切手封入御申込の方に無代進呈致升 東京市神田區樂町一丁目二番地 神明堂

健胃消化錠 ゴルフ タカヂアスターゼを主藥とせる胃腸の新製劑なり 二十錠 四十錠 東京室町 泰昌製藥株式會社

ちの茶

内用 清痔丸 外用 清痔劑 兩劑を併用すれば面白い程能く効く 藥價 内用 外用同價 本舗 名古屋京町 荒川長太郎 全國到る處の藥店に販賣す

第二十八回 新學期

何人も中學校に入らずして容易に中學校卒業の同樣學力を得る懇切無比の中學講義錄を看よ

大日本國民中學會

創立十五週年記念大特典を提供し講義錄を大刷新して新學期を開講す

■講義見本つき規則書無料進呈■

會長 正三位 尾崎行雄
學監 文學博士 遠藤隆吉 理學博士 山內繁雄
學事 文部大臣 岡田良平 文學博士 三宅雄二郎 法學博士 浮田和民
顧問 法學博士 和田垣謙三 農法博士 新渡戸稻造

創立第十五週年第廿八回新學期開講記念として此際至急入會者には入會金全免 參考書進呈 會費免除等 大特典の外 獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京 神田 駿河臺 電話本局 二四〇〇 三〇〇〇 三七〇七番 大日本國民中學會

桃谷研究試驗所製 佛蘭西式純白

美顏洗粉

◆御内意に依り謹製したる品

大正四年五月上旬、或る貴顯(失禮に亘るを憚り御名は御明記申上げず)の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し技師一同飽くまで深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て創製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を、先頃來御伺を經て、廣く世に販賣する事にしましたのが此美顏洗粉であります。斯ういふ品ですから、一度美顏洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せらるる有樣であります。貴族上流方御家庭からの直接御注文も近來非常に多くなりました。

(美顏洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢 發賣元桃谷順天館 全國化粧品小間物店にて販賣)

最善の品 最良の香氣 安心して使へる理由はたゞこの二つに……

ウヅマキ石鹸の

東京本舗 天野源五郎商店

汽車 [illegible]

京城日報
九月三十日
（夕刊とて合せ八頁）

第三版

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 前金三ヶ月分 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

大阪三品特電 十二日後場寄付 [illegible]
大阪期米特電 十二日後場寄付二十一圓二錢▲中限寄付二十一圓九十四錢▲先限寄付二十一圓四八十二錢
▲十二日後場 兵庫後寄十九圓 [illegible] 京十一圓十四錢 大阪前止二十四七十六錢後寄八十二錢の入鞘にて當地當限寄不申中十八圓八十二錢より八錢と跳ね五錢引先十七圓三十一錢と二錢高に寄付きたるも買物多く五錢と上伸したるが戻りは又賣物多く無難にも上伸せず一錢と押し合 [illegible] も十七圓三十一錢と寄付きたる物多く直に五錢と上伸したるが [illegible] り賣物現はれ一錢と押し再び五錢と跳ね二錢と押し大阪正安を受けたるも四錢と騰し三錢と散 [illegible]
[illegible] 大小雨となりたる等何處 [illegible] 如何に本年の稻作を [illegible]
十二日の十一月限 寄付 十七圓三十一錢 後止メ 十七圓三十三錢 高値 十七圓三十五錢 安値 十七圓三十一錢
米 組 合 九月限 四千六百九十石 十月限 七萬一千五百石 十一月限 五萬五千六百五十 [illegible]

京城日報 露國戰線の形勢

最近歐羅巴電信、露軍リガを棄て、退き、獨逸陸軍急速力を以て進入し來るのみならず、獨逸海軍はリガ灣及び波羅的沿岸に出動し、攻撃甚だ急なることを報じ、首府ペトログラードより他に遷すの必要を説くものすら之れ有ることを傳ふ。其他波蘭羅馬尼諸方面に於る露軍、皆敗退せる模樣あり。之れを要するに、獨墺軍新たに强を加へたるにあらずして露軍頽廢戰志なきが爲めなり。露軍にして其士氣を回復せざる限り、其頽勢を盛り返すに由なし。

露軍、必ずしも其素質惡しきにあらず、其糧食、軍需品とても、今は他國の軍隊に比して不十分なりとはせず、而して其頽廢此の如きものあらば、甚だ怪しむべしと雖も、畢竟革命以來人心變態を呈し、其謂ふ所軍隊の情況を報ずるもの、言に依れば、兵卒は一般に自由平等民政の説に心醉して各人各個に其利己主義を主張し、國家の爲めに危を履み、苦を忍ぶなどいふ意思は毛頭これ無し。軍司令官より進撃命令を發すれば、敵前の兵卒はこれが爲めに會議を開きて此命令に從ふべきや否やを議す。彼等は長上官、將校と平等なりと爲し、又、其の去就進退は自由なりと爲す。是れ何れの戰線に於ても、戰はずして退くの外なき所以にして、此の如き民本主義の戰爭は東西古今、未だ曾て其例を見ざる所なりと云ふ。

露國假政府も、當初は自由平等の看板を掲げたれ、此有様を見ては最早默過する能はず、折角廢止したる死刑を復活して、兵卒を威壓するの手段と爲し、其他强制の途を講じて効果あるべきや否や、且革命以來、至らざる無しと稱するも、果して其較々恃むに足れりと爲す所のものはコサック兵なりしに、近報假政府は、コサックの土地を奪ひたりと云ふ。土地制度改革上、或は此の如き必要あるやも知るべからざれども、斯くては彼等も亦、不平を懷いて政府の用務に服せざるに至るべきか。何れにせよ、露國今日の災厄は、其の兵の頽廢弛解用に堪へざるにあり。

同時露國內各地、獨立自治を唱ふる諸小民族、芬蘭ウクライナは既に獨立を要求し、近頃に及びて西伯利亞各州代表者相會して、自治的聯邦を組織することを協議したりと云ふ。若しリガ陷落に引續いて、ペトログラードを敵手に委するが如きあらば、其國內の分立運動は、一層火の手を高め來るべきや論なく、露西亞は遂に多數の自治體の分立する處たるに至るべきか。露人豈、故らに其國土の土崩瓦解を求むるものならむや。其中央に信頼すべき强大政府なく、其軍隊は頽廢して自ら衞るに足らず、人心其恃する所を失ふ。是れ其の變態を呈する所以にして、我友邦の不幸、洵に同情に堪へざる所なり。或は北米合衆國は、全力を致して露西亞を救護すべしと爲し、或は我日本は軍隊を派遣して、露國政府を援護すべしと爲すものあれども、露人自ら救ふの道を求めず、他人豈、外より之を救ふを得むや。日米共に其軍資、軍需品等に就て、相當の援助を爲すべきや勿論なれども、其兵を出して、露國を扶翼するが如きは、恐くは不可能事ならむか。

戸籍屆出 在鮮內地人に注意（上）

戸籍法の規定に依れば外國に在る日本人は其の國に駐在する日本の公使又は領事に屆出を爲すことを得ることゝなり居れり從て朝鮮に在住する內地人の戸籍に關する屆出は統監府設置前は領事設置後は領事に屬した事務を取扱ふべき理事官に於て之れを受付けたるときは法律上內地戸籍吏に屆出たると同一の効力を生ずることゝなり居たりしが明治四十三年九月韓國が我帝國の領土に歸するや總督府官制發布に伴ひ理事官を廢止せられ從つて右

△戸籍法の規定 は在鮮內地人に適用せられざることゝ爲りたるを以て該屆出は直接本籍地戸籍吏に之を爲すの外なく爲に交通不便なる地に在る者の如きは遂に法定の期間內に屆出を爲すこと能はざる結果を生じ人民の不便尠からざるものあり、茲に於て警務總長は部下の警察官吏に訓令し人民にして從來の慣例に依り戸籍法上の屆書を所轄警察官署に提出したるときは便宜之を受付にして內地當該官憲と連絡を取りたる取扱方に非ざるを以て假令前記の如く警察官署に於て屆出書を受付けたるときと雖も適法に屆書の受理ありたるものと云ふことを得ず法定の期間內に屆書が戸籍吏に到達せざるときは屆出遲怠の責を免るゝことを得ざるなり、從て本籍地と接近の地に居住する者の如きは固より屆出に何等の不便なかる可しと雖も遠隔の地に本籍を有する者又は僻陬の地に居住する者の如きは期間內に戸籍吏に屆出を爲すことは到底事實不能なるべく殊に況や當時在留民の多くは公の手續きに慣れず其の

△提出する屆書 の如き必要の條件を缺ぎ或は樣式を誤る等不備のもの尠からざる狀況にして假令期間內に屆出を爲し得るとするも尙ほ之を其の儘本籍地戸籍役場に送致するときは訂正等の爲め書類の往復に幾多の日子と手數とを要し戸籍吏のみならず人民の迷惑も亦た尠からざるものあるを以て相互の便宜の爲め更めて明治四十四年五月警務總長より司法省に交渉の結果朝鮮に在住する內地人は法定の期間內に屆書を郵便に付して直接戸籍吏に送附するか又は在朝鮮の所轄警察署に提出するときは假令

△期間の經過後 に戸籍吏に屆書到達するも失期の處分を受けざることに協定整ひ司法省民事局より全國戸籍役場に其旨通牒すると同時に警務總長よりも右の趣旨を部下の警察官署に通牒し爾來警察官署は右通牒に基き之が取扱を爲し來りたり

誰（65） 布施生譯

委々と這入つてきた姬の顔を見るなり母夫人は青筋立つた顔を更に嶮しくして『これ此不所存者め』と我鳴り立てた『今度の事は皆眞實かねこれ姬其方は妾が其方を信用してしたいまゝに爲せて置いたのを良い事にして、飛んだ不仕鱈をしやつたのう。』『母樣お詫の致しやうもございません。』『これ姬、人の言ふ事は、あれは皆虛構でございますと何故言はぬ、あの恐ろしい話は皆虛構でございますと、これ姬何故言やらぬかいのう。』愚懸けられて姬は何と言も無い、母夫人の怒は道理であつた、姬は暴風に吹捲かれる草花のやうに母夫人の前に俯伏す外は無かつた。母夫人は益々猛り立つて『それむやゐ風評は眞實なのかいのう』『母樣御免遊ばして〱』姬は絶々に訴へた『免せとお言ひかや、あゝそれでは人の話は虛構では無かつたか、あゝ何としたものであらう、これ姬其方の身體には誰の血が通ふてゐる、否が應でも虛構と斷言らねばならぬ事を平氣で白狀して――』『母樣それは餘りお情なうございます』『情ない？、おゝそんなら其方は此妾にどれ程情があつたかいのう、これ姬、其方の恥辱は妾の恥辱ぢや、妾が死にも入りたい程に思ふ事は其方も知つてゐやる筈だに、あゝあゝ嗚其方は蔭で妾の馬鹿正直を笑やつた事であらうのう、妾は今迄其方を昔のまゝ赤坊のまゝの箱入乙女と思込んでゐましたぞや、それに其方はあの球戲場で喧嘩する男の日に懸るまでに墮落して、いねさ其方は男に邂逅り次第初めての人に身を任しやつたのう。』『母樣〱』姬は堪らず遮つた『おや之も違つたか――わ、邂逅り次第ではない邂逅る人皆にかわ、何れにしても姬其方は飛んだ男を選びやつたのう、藏部と吾家とは知つての通り仇敵同志ではないか、其仇敵の裔に身を任して、へへあの藏部の數敵め、正面に仇敵は打ちも得せぬ怯な奴ぢや、男に似合はぬ卑いで娘に恥をかゝせて復讐をしやうとは』『――いゝえ母樣』姬は一生懸命になつて『そんな事はございませんわ、あの方は直實に妾を、あの母樣のお許可さへあれば――』『嫁に貰ふ心算であつたのかね、へへ、虫のよい、其方を藏部へ遣る位なら妾は其方を乞食に呉れてやりますぞ』『まあ母樣』『いゝね、それに今は數敵の奴も死ねば父侯爵さへ死んだとやら、ひゝひ、よい醜態〱、これで復讐は出來たといふもの』夫人は狂氣のやうに白い齒を剝出して罵つた。

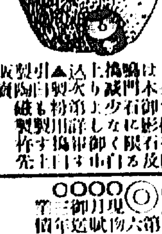
機を捕ふるに敏なれ
株式暴落により絶好の買場所を造れり惡材料出盡し、市價は採算以上となり、貿易は順調金融は依然として緩漫時に資産家の出動を促し來れり此機を逸せず買へ現株は決して危險に非ず當店は懇切に御取扱可致候
京城明治町二丁目四十三番地
株式現物 余 合資會社 桐生屋株式店朝鮮出張所 電話長一一二六番

十月號 トモダチ
文學士寺田精一先生監修
美しい繪と面白い物語が滿載
附錄 イウビンゴッコ
一冊十三錢 郵税五厘 全國書店にあり
東京麴町富士見町 一葉社 振替東京三三六三 電話番町四〇五八

宮崎式滿洲瓦發賣廣告
宮崎式滿洲瓦は近世式屋根瓦にして瓦業苦心考案を加へ今や完全の品を製出するに至れり其質の堅牢にして耐久能く寒暑に堪へ重量輕く聊かの漏水なく且つ色彩の加工自由なれば和洋建物に適し殊に洋風建物に至つては配合よく外觀頗る美にして如何なる極寒中と雖も破壞する事を稀有に理想的屋根材料として到る處に歡迎せらる
製品の特色
色彩 青色 鼠色 錆色 鐵色
價格は從來の日本瓦に比し頗る低廉なり（一坪に付き四十八枚遣ひ）
使用せし重なる建築物
安東縣 稅關 官舍
平壤 中村組事務所
兼二浦 三菱製鐵所
平壤 小野田セメント會社支所
鎭南浦 久原製錬所
滿洲、靑島、上海等到る處使用せらる
龍山漢江通十三番地 宮崎製瓦所分工場
西鮮特約店 平壤 中村組

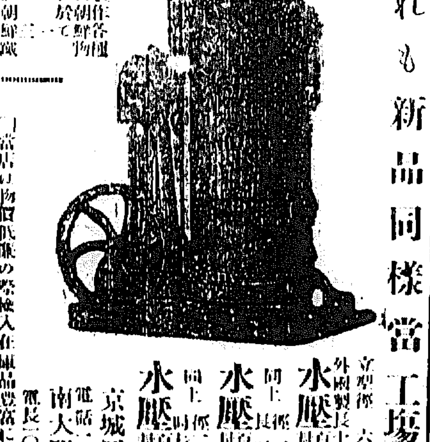
太陽增刊 新法令
九月五日發行 定價八十錢 郵稅八錢 東京本町 博文館
昨年五月以降新たに制定發布せられたる法律命令にして、適用範圍の洽く、影響の緊切なるものは「悉く網羅して本卷に收輯し、各人の必要に應じて抽讀引照の至便を期せり、九章に分ち、二百餘項に及び校正嚴密を極む、定評ある「太陽」年中行事の一也。
附錄 議會史 の敍事精緻にし、觀察の記述なる事も亦、夙に定評ある所、解散を以て終れる第三十八議會の顛末、總選擧の經過、總選擧後の臨時議會たる第三十九議會の情形等、歷々誌上に展開せり、百二十頁に亘る法治下國民必讀の文字也。

米國製造 鐵木捻鋲 印
各番各吋在庫品豐富（特に勉强）
外に輕鋲品持合有之割安にて御入用に應じ直に御間に合ひ候（御希望に依り寸法書送呈）
大阪市西區西長堀北通五丁目六番地
直輸入商 井上廣太郎商店
電話新町一七一九 振替大阪一一三

精米用臼搗

御門石製 精米機用 足踏用 水車用
[illegible]
大阪市北區上福島一
製臼元祖 砂川製臼所

子規居士五十五週忌記念書帖頒布會
揮毫者
內藤鳴雪先生 中村不折先生
河東碧梧桐先生 吉野左衛門先生
高濱虛子先生 下村爲山先生
光筆版
正岡子規先生 寫生畫 汽車の煙、根岸庵より上野を望む、夏の枯野、あつさうなすゝき、窓前、向ひの家、夏菊小景、僕の庭の空 八枚
中村不折先生 寫生畫 大上寺、御行の松、一枚
子規居士の寫生畫八枚は居士が曾に寫生を娛樂せし時代に根岸（子規庵）の病床より眺むる庭前小景を寫生せんとし未だ完了せざるを不折畫伯に與へたるものにして [illegible]
規定
一、會費金十五圓（外に居宅代金引換小包郵便料三十錢添、[illegible]）會費及送料は揮毫出來の節居宅代金引換小包郵便にて現品と引換の事。
二、申込金等一切不要。
三、申込期限九月三十日限り（畫帖は十月十五日より申込順に依り配布す）[illegible]
四、本會の趣旨に賛同せられたる諸賢の芳名を永く後世に記念せんが爲め、會員名簿を作り卷頭に子規居士の肖像（寫眞版）を附し會員に一部宛贈呈す、但し名簿に記載を望まざる方は申込書に其の旨記入せらるれば削除す。名簿贈呈は會終了後の事。
五、入會者は端書に「子規居士五十五週忌記念書帖頒布會に入會致候」と記し住所姓名を明記し捺印を押し東京市麴町區元園町一ノ一九中央出版協會宛で投函の事。
[illegible]
東京市麴町區元園町一ノ一九 中央出版協會
申込取次所 東京牛込區船河原町一二 ホトトギス社 東京市下谷區上根岸八二 海紅社
畫帖は上製（紙表紙）竪約一尺三寸、横約一尺の大畫帖なれば、若し御所得の後は軸物に仕立直さんとせば六大家の肉筆六幅千里不折先生の光華版宗十幅合計十六幅の御掛軸用物を得。貲さしてて永く劫誘するに足るべし。

初回 勸業債券（拾圓券）賣出
[illegible] 勸業債券 [illegible] 當り
報國公債 朝鮮支部
[illegible] 西村商會

何れも新品同樣當工場在庫

竪型掛六馬力 外國製 水壓 一個
同上 水壓 一個
同上 水壓 一個
同上 水壓 一個
[illegible]
京城岡崎町 中根工場 電話二五六番
南大門通五 中根販賣部 電話長一〇四番
當工場の製作各種諸機械は朝鮮物産共進會に於て二等賞牌褒狀を授與され朝鮮工業界に於る最初の光榮を得たり
當店は物價低廉の際輸入在庫品豐富に付先般來日本へ移出中の所船腹不足の爲め長久時日を要するを以て今回朝鮮內に於て一大放賣を決心し既製品の賣價は勿論加工鐵工一般の業務を廉價に御注文に應じ候間何卒御用命願上候

○コ將軍進撃

陸海軍委員會へ通知

勞兵會及び農民會の執行委員會は陸海軍委員會へ左の意味の通知書を送れり(倫敦電報)

コロニロフ將軍は反革命軍隊及び暴徒を率ゐ臨時政府を奪ふ目的を以つて露都に向け兵を進めたり將軍の軍隊は欺かれて極端派の暴動を鎭壓せんが爲に入京するものと信じつゝあれども斯くの如き暴動は全く存在せず故に執行委員會は陸海軍委員會に對してコロニロフ將軍及其の部下の命に服せざらんことを要求す執行委員會は又中央委員會及臨時政府の要求を傳達し且つ兵士特に騷亂しつゝある兵士に對しコロニロフ將軍の陰謀の眞意を知悉せしむべく求めたり

▲コロニロフ叛軍の軍は露都を距る三十哩の地點迄進撃し來れり(東京特電)記者曰く本電報は路透通信發上海、大阪兩地を經由せしものにてコロニロフ將軍の事實上の謀叛を示せるものなるが不取敢茲に掲げて確報を俟つ

○ケレンスキー氏の誠忠

危機一過せるもの、如し

露國内閣は今猶ほ動搖中なるも危機は既に一過せるもの、如し近は新に總司令官に任せられたるケレンスキー氏内閣を援助し斷乎として一切の叛逆行爲防遏を宣言したるに據る倘立憲民主黨の勸誘せるは事實なるも首相ケレンスキー氏は國家の内患に際し全責任を他に轉稼すべからずとなし立憲民主黨に對して調和を求めつゝあり(露都電報)

○伊太利軍の優勝

コリチア東方に壓迫を加へつゝあり

羅馬來電=トレンチノの戰線に於て敵の偵察隊は我が(伊太利)前衞によりて擊退せられたり我が軍はコリチア東方に壓迫を加へつゝあり敵は步兵を以て三回逆襲を試みたるが直に之を擊攘したりカルソの戰闘にて我が砲兵は敵に猛擊を加へ我が飛行隊はテルノヴオ戰線にて敵の要塞に爆彈を投せり此の戰闘に於ける我が戰利品は砲百四十五門、塹壕重砲九十四門、機關銃三百十一門、小銃一萬一千餘挺に達したりと(羅馬電報)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○擇善主義と、事大主義とは、其形相ひ類して、其實甚だ同じからず。事大主義とは、自個を沒却して、他に依附するものにして、苟も其の大者に對しては、絕甲に心醉し、絕對に服從し、毫も善惡正邪、美醜の差別なき也。乃ち差別せんとするも、内自から主とする所なきに於ては、到底克はざるのみ。

○擇善主義とは、自から獨自一己の地歩を占め、何處迄も我が本領を把持し、而して徐ろに他の短を捨て、長を取るを意味す。學ぶも我にあり、學ばざるも我にあり。一心の運用、以て四圍の境遇に應酬するに餘りある也。是れ擇善の擇善たる所以、即ち擇擇の權我に在す。是れ事大主義と、同一視す可らざる所以也。

○朝鮮の未だ併合せられざるや、露國黨あり、日本黨あり、支那黨あり。巴爾幹諸邦に於ても、大戰の以前には、露國黨あり、墺國黨あり、或は英國黨あり、獨逸黨あり。事大主義の風氣は、隨處に流行しつゝありし也。是れ小邦の立場として、良と亡餘儀なき始末也。

○事大主義は、政治、外交の上のみならず、思想、學問の上にも、其の惡影響を及ぼすを、鑑みざる可らず。吾人は此の精神的事大主義が、果して我が國民の中に皆無なるや否やに就て、疑問なき能はず。

●濰口銀行增資 山東省濰口に本店を有する日支合辦濰縣の濰口銀行(資本金二十萬圓)全部株主に於て引受くる事となり三日中に全部新株の拂込を了する所山…增資の結果は先づ四分の一…

●工業所有權戰時法施行令

工業所有權戰時法施行令は十二日官報を以て公布せられたり全文十條より成り法律により農商務大臣の職權に委ぬる特許又は商標登錄を取消す時は農商務大臣の任命せる五人乃至七人を以て組織せる調査委員會の審査により其の決定をなす事とし特許發明專用權讓渡には農商務大臣の認可を要し變更處分の制限取消等は登錄によりて効力を生ずること及び農商務大臣の專用權を取消すべき場合を規定したり(東京特電)

□兩陛下還幸啓

天皇皇后兩陛下には八月一日以來日光田母澤御用邸に御避暑中の處十二日還幸啓仰せ出だされ同日午前七時十五分御用邸御出門德川侍從次長、波多野宮相、内山侍從武官長、千種典侍以下供奉日光驛御發車午前十一時二十五分上野驛御著東宮殿下御使西尾大夫、伏見宮貞愛親王殿下外各宮殿下、寺内首相以下多數官民の奉迎を受けさせられ近衞師團兵堵列奉迎の裡に御機嫌麗はしく宮城に還幸啓あらせられたり(東京特電)

◉朝鮮僧侶團 靜動

滯京中の朝鮮僧侶團一行は十二日上野驛にて兩陛下の還幸啓を奉迎し後帝國大學を參觀せり一行は十三日退京、伊勢大廟、桃山御陵を參拜し京都各宗大本山高野山等を歷訪すべしと(東京特電)

◉鮮銀劵膨脹

保證準備發行餘力なし

九月二日より八日に至る一週間の朝鮮銀行劵發行平均高は四千五百八十六萬七千五百餘圓にして既に昨冬に於ける最膨脹の記錄を破らんとしつゝあり倘ほ保證準備發行平均高は三千萬圓となり今後の膨脹は正貨準備によるの外なきに至れり

◉京城學校組合會議

京城學校組合會は去七日同委員會に於て否決に終りし大正六年度學校組合歲入出豫算中更正及び追加の件即ち軍司令部より提供したる土地建物を利用する

▲龍山新設小學校 問題に關し十二日午後三時より組合會議場に於て會議を再開したり定刻に至るや金谷府尹開會を宣し直ちに議事に入る出席議員十六名、先づ深水議員は附託事項に對する委員長として原案否決の報告旁々否決に至りし理由を説明し委員田中議員は深水委員長の後を受けて今回の敷地が位置の偏在せる事通學區域の當を得ざる事其の通學區域内に於ては當分の内兒童數の增加を豫想し難く地方的發展の見込なき事、學級數が少數なる割合に比すれば

▲多數なる時よりも多大の經費を投せざるべからざる割合に打算せらるゝ事となり結局一學校を增築して學級數を增すよりも其の管理維持上に要する經費は却つて尨大なる割合の結果を齎らし延いて吾人學校組合員の負擔額に重大なる關係を及ぼし財政上當を得ざる事等を數的に詳論し龍山に小學校を新設するよりも當面の問題として南大門小學校は已に學級に不足を告げ來年度に於て三十乃至四十の學級數を增加すべき敷地の餘裕を强いて偏僻なる龍山の提供地を取らずとも多々あるに非ずや龍山

▲元町兩小學校に 擴張の餘地あるにも拘はらず何を苦しんで各種の係上不便なる場所に新設の必要ありや只徒らに陸軍側の好意に依り強いて問題を悲起して建設する原案を否決する者なりと結ぶ之に對し二三議員の質問あり高山議員は本問題に關し地理的經濟的關係より推して新設の必要を認めずと述べ採決を希望する所あり其れより贊成論反對論百出し否戰徒に急なるもの

▲東西南北數里に 亙る大田中議員は伊藤統監時代よりの計畫に非ずやと擁護すれば高山議員はかゝる空想を夢みて當面焦眉の急務を忘却する如き吾人に非ずと慨憤し田中議員は經費問題に關し委員の調査の粗漏なるかの如き言説を爲すものあるも二三天作の五には間違ひ無しと元來少數者の爲めに多數者の利益を犧牲に供するが如き事は吾人の取らざる所此の斷案の下に原案を否決せる也と激しく論戰辯駁する所を知らず、理事者側は原案の維持に努め金谷府尹は一應原案提出の

▲經過及び理由を 述べて各議員の公平なる判斷を得る事は無益の業に非るべしと前提して委員側の否決の原因たる位置の偏在せる事通學區域の不適當なる事及び經費問題に關し詳細なる説明と經驗を試み陸軍側の提供に由る敷地の如き廣大なる土地及び衞生上訓練上甚だ便宜なる場所を選定する事は現今に於ける教育方針上誠に時宜に適せるものにて之をしも取らずと云ふは組合の損失なりと結ぶ。議論紛糾して容易に解決を見ざりしが結局第二讀會に移すや否やを質したる結果

▲第二讀會を開く 事となりしが讀會省略説多數にて直ちに贊否の採決を實行したる結果委員の原案否決に贊成したるもの九名原案贊成者七名を以て結局龍山新設小學校問題は組合會の否決する所となり散會せしは午後七時なりし

◉大豆收穫豫想高

豫想總額二百八十四萬二千石

前年に比し三歩九厘の減收

大正六年の大豆作は播種當時降雨勘く且つ其の後旱天打ち續きたる爲め一般に生育を抑制されたり、而して七月下旬より八月に亙りては相當の降雨ありたるを以て稍生育を挽回したるも尚ほ北部に於ては降雨不足にして作柄不良なる地方少からず、今九月一日の現況に徵するに其の收穫豫想高二百八十四萬一千五百七十三石にして之れを前年實收高に比すれば十一萬五千六百五十三石即ち三歩九厘の減收なりとす、左に大正六年地方別大豆收穫豫想高及び前年實收高との比較を表示す可し

●大豆收穫高累年對照表●

年次	收穫高
大正元年	二、四五二、二〇三石
大正二年	二、四一五、三八五石
大正三年	二、四六四、六一三石
大正四年	二、七七八、五六一石
大正五年	二、九五七、二二六石

豫想 大正六年 二、八四一、五七三石

地方別收穫豫想高及び前年實收高比較

道名	大正六年	大正五年	比較增△減
京畿道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠淸北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠淸南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全羅南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尙北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶尙南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平安南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平安北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸鏡南道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸鏡北道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	二、八四一、五七三	二、九五七、二二六	△一一五、六五三

◉京畿米檢成績

八日京畿道管内米穀檢查成績を聞くに檢查總數玄米八萬二千八百十八叺中白七百九叺にして内優等玄米四千八百六十六叺上格同一萬三千八十二叺下格同六萬三千六百九十二叺中白七百九叺あり而して輸移出道外搬出禁止四百五十八叺を示せり因みに輸移出禁止原因は乾燥不良又下格の原因は夾雜物過多に加ふるに包裝不良の爲めなりと傳ふ中白百三十七叺及び玄米六千百六十二叺は何れも軍需品として大連に輸出されたり

◉釋宗演師入京

鎌倉圓覺寺管長釋宗演老師は支那巡錫の途次十二日夜九時南大門驛著直ちに朝鮮銀行三島理事邸に入れり同行者は二條公爵嗣子厚基氏、京城に於ける揭唱は既報の如く十三日十四日十六日十七日の四日間、十五日は休息奉恩寺に參詣すべしと猶ほ當夜南大門驛には小原長官、岡本技師、久保博士等官民多數の出迎あり

◉酒稅滯納原因

大正六年度第一期京畿道管内酒稅滯納原因調査の結果を聞くに滯納人員一千二百三十八人にして此稅額七千二百五十九圓六十七錢に達し内怠慢に因る者二百七十八人税額八百卅五圓九十六錢貧困に因るもの九十八人税額四百七十圓金策不如意に因る者三百八十一人税額五千三百十二圓七十二錢等重なるものなりと

○途上口吟　釋宗演

七年三過洛東間。願望兜窓先破顏。最喜皇政洽林野。黄山換色作靑山。

○秋風猶謝無佛居士來迎我一行

直霧林巒曉翠新。驅輪一路入雲津。長征不覺鄉關隔。秋風猶頭逢故人。

◉輕鐵連絡計畫

淸會線素(?)半古豐山間は九月二十日より營業開始の筈なるが古豐山停車場と輕鐵停車場は約半哩の距離あるを以て輕鐵經營者松本組にては同地間に輕鐵を敷設し本線と輕鐵との連絡を圖る計畫あり尙ほ古豐山迄開通の結果は淸津會寧間は半日にして到著するを得べく貨物賃金の如き從來に比し多大の減額を見るに至らん(淸津)

○露國大藏證劵引受

我國に於ける軍需品註文代金の支拂ひに宛てしむるもの

露國政府は東京にて大藏證劵額面一億五千萬圓を發行し我が大藏省は其の全部を引受くる事とせり右は露國政府發行の本月二十五日滿期の露國大藏證劵七千萬圓の借替を圓滿に結了せしめ殘餘の資金は我國に於ける軍需品註文代金の支拂ひに宛てしむるものなり(東京特電)

○財政經濟派遣員官制

十三日財政經濟海外派遣員に關する官制發布せらるべく其の全文左の如し(東京特電)

第一條 財政經濟に關する事項を處辨せしむる爲め外國に派遣の必要ある時は内閣に臨時左の職員を置くことを得

日本帝國政府特派財政經濟委員長

日本帝國政府特派財政經濟委員

第二條 日本帝國政府特派財政經濟委員長は内閣總理大臣の奏請に依り内閣に於て之を命ず

日本帝國政府特派財政經濟委員は關係各廳高等官又は學識經驗ある者の中より内閣に於て之を命ず

第三條 日本帝國政府特派財政經濟委員長は親任官の待遇を受く、日本帝國政府特派財政委員にして官職を有する者は其の有する高き官職に付きて受くる待遇を受く其官職なき者は勅任官又は奏任官の待遇を受けしむる事を得

人事消息

▲高井正之氏(陸軍砲兵大尉) 十二日夜出發平壤へ

▲黑板文學博士 十三日朝入京京城ホテルへ投宿の筈

▲富塚步兵第七十九聯隊長(大田聯隊) 十二日夜入京巴城館へ

▲木村健夫氏(木浦商業會議所會頭) 同夜入京山本へ

▲山口宗治氏(三井鑛山部員) 同夜入京浦尾へ

▲中村與資平氏(工學士) 同夜東京より歸宅

囗百聞百種囗

今日は一とつ面白い處を拳ろう▲司法省參事官山内確三郎君は省内切つての酒豪として評判されて居る▲物日や祝日でもあつたり會心の人と御輿を据えた時は六七升は飲けるさうな夫で酒の上での失敗がない▲時には友人から節酒の勸告を受けるが君は微笑し乍ら蟷螂のやうな拳を交して運動で鍛えた此の腕を見て呉れいと誇る▲奥さんも氣前が好く酒事が好きと來て居るから堪らぬ▲家の心配の事でもある▲家族は愚出入の看屋八百屋豆腐屋醬油屋まで招いて隔てなしの大振舞ひ▲蒸撈の二本も空けるのは珍らしくないとの事▲文部省の山崎會計課長御大典當時典儀官を承はつて首尾よく御奉公申上げた所から▲記念の爲め當日著用した衣冠束帶と御紋章入りの銀製洋盃を賜はつた▲固より一世一代晴れの裝束家寶にして長持の底に秘めておいた▲それでは惜可寶の持腐れ寧そ寶物の展覽會でも催して廣く光榮を頒つに若かずと思いつたやうな譯で▲先達其れを捧持して所謂錦衣郷里の實を擧げた▲乃で一村の老人達を招待して恩賜の銀盃で一獻づゝきして廻り▲やがて主客陶然として和氣滿堂といふ寸法になると▲一寸失禮と一揖を廢して衣冠束帶を手取り早く一著なし上手の方から悠々然として現はれ出でたので▲列座の面々ハッと許りに平伏して暫らくは頭を得上げず平蜘蛛の樣になつたとは罪がない

●春川 ▲組合管理者交代 春川學校組合管理者稻垣清三郎氏は…

熊本縣人は名樓一樂に於て盛大なる送別の宴を開きたり▲副豐社…

…め毎餐飲料水等衞生上傳染病を…

…十一日夜營口より奉天に護送し來れり而して官兵中十餘名の負傷者あり(奉天特電)

●岡山驚温泉に虎疫

鹿兒島專賣局にては生木を燃草箱に使用したる爲め四千箱腐敗したり(鹿兒島電報)

●銀塊相場奉騰 倫敦銀塊は相場五十片五となれり(大阪特電)

商業登記公告

地番號ノ設定ニ依リ株式會社湖南銀行開城松都面、論山郡江景面、大田郡大田面、公州郡公州面、清州郡清州面ノ各支店所在地ヲ左ノ如ク變更シタリ 京畿道開城郡松都面北本町九拾六番地、忠清南道論山郡江景面本町貳百貳拾九番地、忠清南道大田郡大田面本町壹丁目參拾五番地、忠清南道公州郡公州面本町貳百拾參番地、忠清北道清州郡清州面本町百九拾九番地 右大正六年九月參日登記

株式會社百三十銀行取締役岩橋長秋ハ大正六年八月貳拾五日辭任シタリ 右大正六年九月四日登記

商號新設 商號 東美書市、營業ノ種類 書籍販賣、營業所 京城府蓬萊町壹丁目百參拾五番地、商號使用者ノ氏名住所 同所 金天熙

不二興業株式會社ハ大正六年九月壹日群山府本町通貳拾八番地、仁川府海岸町參丁目參番地ノ各支店ヲ廢止シタリ

三井物產株式會社ハ大正六年九月壹日英領印度孟買フォート、ホームストリート第六拾貳番第六拾四番ゼ、テレフオン、ビルディングスノ支店ヲ英領印度孟買フォート、ホンビーロード第百九拾貳番ドツルカダス、ビルディングニ移轉シタリ 右大正六年九月五日登記

支配人選任 支配人ノ氏名住所 京城府永樂町貳丁目七拾五番地 中野勇吉、主人ノ氏名住所 同所 京城十友合資會社、支配人ヲ置キタル場所 同所 右大正六年九月六日登記

東亞煙草株式會社ハ大正六年六月拾壹日存立時期ヲ大正貳拾八年八月參拾壹日迄ト變更シタリ 右大正六年九月七日登記

京城地方法院

登記公告

本年中延安、金川、安岳、長淵、馬山、各出張所ニテ取扱フ商業其他ノ法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス

大正六年九月 海州地方法院

地方金融組合登記(變更)

龍仁地方金融組合ノ住所ヲ京畿道龍仁郡水餘面金良場里八拾參番地ニ移轉ス 右大正六年九月八日登記 京城地方法院金良場出張所

購買入札

一大豆五百石 監獄納 右購買ス詳細ハ大正六年九月拾參日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

拂下公告

一元漢城病院跡乙號建物 入札月日 九月拾八日午前十一時 詳細ハ會計係ニ就キ照合スヘシ 京城府

鑛區買入

各鑛種先願權共買入申候 新發見も御相談に應し申候 京城旭町一丁目電話九五五 三友鑛業事務所

試金用各種 坩堝販賣 白上商店

電話開通 長一五四六番 京城北米倉町 古物商 有好商店

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價一圓十五錢 郵稅二錢 京城大和町京城日報社代理部 振替三〇〇番

最新刊

●法理學大綱 穗積重遠 八〇

●親族法大意 同 八〇

●世界の變遷 鹿野千代槌 一、三〇

●大英國海運業 田中堯一郎 一、〇〇

●人生と教育 稻毛詛風 一、五〇

●國民道德百解 渡邊富吉 一、三〇

◉將棋勝敗 此の一手 定價六十錢 名人關根金次郎著

●輸入アンデルセン御伽噺 二、二〇

●早く上手になる式 習字用三體手紙の文 三五

●注文取の秘訣 清水正巳 八〇

●輸入少女 生花の巻 齋藤盧山 一、〇〇

●荒尾讓介 小栗風葉 七五

●情話 友禪染 水谷西紅 六〇

●支那鑛業條例 望月総太郎 六〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目

紳士淑女の御紋付は福井物産羽二重本誂に限る。天長祝日とお正月の御支度は今から

安全に取替へ得る品物で御座りまして御安く御買求め遊ばさるゝ利用相成度候

福井市城之橋通角 三輪呉服店 國産部 電話長五二番 振替東京三一四四五番

京日案內

●貸商又は商店 ▲貸家 間數八疊 離家及土藏付 黄金町三丁目二四一番地 古賀迄 557

●男せ記者並に地方支局長採用 十五圓以上百圓迄 履歷書要來談 京城吉野町一の二七 電話二七七二番 新聞社支社 558

●店員募集 卅六七歲迄 醬油販賣に經驗ある者本人來談 京城大和町二丁目 高橋醬油釀造所 562

本町一丁目(明治町通) 野村書店 525

電力モーター 五馬力 三馬力 一台 在庫 南大門外 中根商會

◉鑛物定量分析 明治町二(電話二七七二番) 本町一丁目 江戸川橋入 田部分析所 477

●はねつき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 483

京城春川間自働車 賃金片道四圓 春川發前八時 京城發前八時 京城水標橋通り 電話二三八八番 春川自働車商會 松田壽男 34

●外交事務員募集 報酬手當は經驗に依り相談 希望者は電話一四〇五番へ 555

……り去る三日臨時[illegible]百萬圓に增資すべく決定し目下增株を本府に引直すべく近日中其筋に向け右認可の申請を爲すべし新株は一切公募せず……の準備中なるが（大阪）

[illegible]たり▲郡[illegible]書記倉原新氏は今回横城郡々書記に榮轉去る三日赴任したるが春川在任……ひた……に內地より雇用する由……狀態●春川は未だ水道の布設なきた……

▲場面底強し

……逃亡……以て……徒と交戰し非常の混亂を呈せるも約二時間にして漸く鎭定に歸るを得た

……同温泉に於ける客百……遮斷せられたり（岡山電報）

◉葉煙草四千箱腐敗

……午前六時三十分兵庫停車場にて……脫線せしため貨車二輛顚覆したり（神戸電報）

◇釋宗演老師の入京◇（中央）宗演老師（向つて右）二條厚基氏（向つて左）後藤瑞巖師……（十二日夜南大門驛にて）……

◉達磨大師の跡を尋ねて

◇◇釋宗演老師の支那巡錫◇◇

「朝鮮の山も青くなつたなら、七年振りぢや……」

支那行脚の釋宗演老師を京釜線秋風嶺驛に出迎ふ、十二日の午後二時廿分、導かれたる食堂には圓覺寺の傳燈二百七代の老師が炬の如き眼光を投げつゝ

✕破顔先づ出迎へ の無佛居士と對座した、お隣には貴公子二條厚基氏が大正の蜷川新左衛門然と控へて居られまた京城妙心寺の後藤瑞巖師、釜山の小澤師も加はつてなかく盛んな一行であつた、老師の談に曰く『朝鮮の山は青くなつたなう、七年目に來て見ると大變な變化ぢや、山の通り總てのこともよくなつたであらう、納が此の前來た時は主として滿洲を視たが、その前日露戰爭の時は鎭南浦の海上に碇泊して伏見宮殿下の師團と共に韓土に上陸した、無論

✕戰線も巡つたか 戰爭は人が眞面目になるものぢや、くだられ虛榮心を投げすてゝ人が眞劍の境面目になるものぢや、なに支那の旅程か、あちらでは先づ直隷省の正定府に宗祖臨濟禪師の跡を見るのぢや、サア京漢線は水害で不通ぢやといふが何んなものかな、次ぎは河南省で嵩山の小林寺を見る、寺は達磨大師が魏の國に赴き面壁坐禪したといふ跡であるが只今支那から來た此の手紙を見ても目下

✕荒廢してゐる樣 なや、なに嵩山か、あれは曾て大谷光瑞さんも居たところで滄洲に近い、納は寧波へは印度のセイロン島の歸りに寄つたことがある、しかし今から廿九年のむかしのことぢや、あの邊にはむかし唐宋時代に日本と交通した跡が多く、阿部仲麿の遺蹟もあれば五大山の寺もある、納はお說の通り先年亞米利加にも行つたが外人中にも禪家の教外別傳を求めむとする者が尠なくない、しかしそれは何れも學問のある人々で彼等には

✕佛教が合理的な 教へだといふ點が氣に入つてゐるやうぢや、なに支那の佛教か、これも汎東洋思想によつて日本人が振興させねばならぬものぢや、支那にはわが皇室の如き國民の思想の中心となるべきものがないから勢ひ獨立自主の精神を亡ひ遂には自國の宗教までも失なつたのぢや、四億の民を救ふのは汎東洋思想の宗教でなければならぬ、支那を救ふは日本を救ふ所以である……『秋風嶺とはよい名稱ぢや、だいぶん涼しくなつたわい……』と

✕即吟の詩を示さ れる間に朝になつた、大田驛からは木浦の木村健夫氏の出迎へあり水原驛では本田博士、野木氏等あり、永登浦からも龍山からも盛な出迎へであつた

◉馮總統夫人逝去と服喪

旣電の如く馮大總統夫人は十日夜逝去したるが出殯は十一日午後十時納棺十三日葬儀を執行する筈なり右に對し段總理及び其他の閣員は弔辭を述べ總統は七日間の喪に服すべく而して服喪は總統府のみに適用し其他の官廳には適用せざる旨を發表せり（北京特電）

◇逝去せる馮大總統夫人

◉白川組工事主任の逃亡

鐵道請負工事を中止して

大田沃川間の鐵道改修工事は白川組（前代議士白川友一氏の經營せるもの）請負にて既に六分方竣工せしが突然其の工事主任者が本月六日朝に至り工事を中止し同時に八月一日よりの勞働賃金及び諸品代金の支拂をなさずして內地へ逃走したるを知りたる下受負人五名は逃亡先なる內地に急行して取押へたるも再び逃走せるより大田、增若地方關係者の恐慌一方ならず此の貸金總額增若にて一萬五千圓、大田にて四萬圓に達せるが此の外詳細の調査をなさば數萬圓に上るべしと（大田特電）

◉阿片煙を種に一千圓を詐取

平南鎭南浦億兩機里僉錦球（三四）慶南晉州平安洞生れの趙應來（三六）の兩名は大正六年三月中奉天に赴き鎭南浦龍井里の李英信（三）に對し奉天にて阿片密賣をなせば巨利を博し得べしと巧く認めたる書狀を送り共同經營の資金として金員を携へ來るべしと申送りたるに之れを信じたる英信は現金一千圓を携へ兩人の許なる奉天十間房同仁旅館に赴きたる際兩名は滿洲にて大金を携へ居るは危險なるを以て貯金すべしと勸め鮮銀支店に預け入れしめ置き其の後兩名にて引出して分配消費したる後各本籍地に歸還中を探知され錦球は此の程鎭南浦署に應來は晉州署の手に何れも逮捕されたり

◉落雷で死傷四名

扶安郡白山面竹林里趙尙詩方に去る二日午後二時頃落雷あり尙詩二男應相（七）及び同人の弟（四）との二名即死し尙詩及び長男の女房は何れも負傷したり

◉諸車檢稅開始

京城府にては六年度府稅及び國稅第二期の稅額調定を了し若くは調定中にして十月早々夫々告知書發送の準備中なるが右に就き府稅雜種稅中の諸車賦課稅中脫稅者尙多數ある見込にて先般來大々的調査を開始し居りし事は略報の通りなるが愈十二日より自轉車人車荷積牛馬車等の檢稅を實行し稅金逋脫者に對しては發見次第規定に準據して十圓以下の科料及び既往に溯及して稅額全部を徵收せらるゝ筈に付き現在使用の有無に拘はらず使用し得らるゝ諸車所有者にして鑑札又は檢印を受けざる向は此際至急屆出づる方得策なりと

◉自殺を企つ

全南花信橋庄仕雜貨商川西芳吉の長男村一（一〇）は同地料理屋濱野屋及び高橋旅館にも屢々出入せし爲め近來多少借金も出來父母の戒めも一向聞入れず去る四日夜も高橋にて飲酒し次で濱野屋へ赴き酌婦を揚げて散財中母が尋ね來りたるも村一は肯はず程經て悄然と立去り友達なる松永自轉車店へ立寄り母に濟まぬ事を爲たとくれぐれも詫し尙同料亭の借金の始末を松永に依賴せしかば松永は心得て高橋旅館へ赴きたる留守中村一は咽喉を掻き斷りて自殺を企て苦悶せるを附近の者が發見し自宅へ擔ぎ込み手當を加へしかば生命には別條なく約一ヶ月にして全治すべしと

◉竊盜と横領と詐欺

鍾路署の手に捕はれた

京城公平洞金應翊（三〇）は金物商なる者の池所[illegible]開閉許可證二通を横領し▲住所不定朴順基（二二）は水道巡視に化け違反者三名を恐喝して金を騙り▲住所不定[illegible]（三三）は若草町伊佐某方外一軒の內地人より[illegible]衣類を掻つ攫ひ▲住所不定[illegible]は[illegible]方外五箇所に侵入し[illegible]より四五十錢以上二圓迄の金を横領し▲住所不定[illegible]（三三）[illegible]（三八）外一名の前科者は共謀し樂園洞[illegible]外十箇所より衣類雜品百餘圓を窃取し▲[illegible]洞李成奎（三九）は監獄にて知己となりたる公州郡正安面の金元奎に對し支那に渡り料理屋を營み共同經營すべしと其の資金名義にて二百圓を詐取し▲黃金町四丁目朴貞[illegible]（二四）は同町方召史方に雇はれ中同女の衣類を窃取し▲[illegible]洞朴永奭（三七）は[illegible]ミシン支店[illegible]より機械二臺を借用名義に騙取して九十九圓に入質消費し▲鍾路五丁目金鍾聲（三〇）寶動洞魚販鄭[illegible]（三二）は[illegible]を騙取して七圓に入質し▲[illegible]其他を窃取し▲[illegible]より時間借りの名義に自轉車一臺を騙取し▲[illegible]（三一）は長沙洞[illegible]より現金六圓其他を窃取し▲[illegible]（一九）は[illegible]外三箇所にてバケツ其他を窃取し▲[illegible]は[illegible]一臺を騙取して八圓に入質し▲[illegible]（一九）は[illegible]の錠前を捻ぢ切りて衣類[illegible]を窃取し▲住所不定朴明浩（一九）は[illegible]アルミニユームの辨當箱一個外五箇所の[illegible]を窃取し▲[illegible]（二八）は西大門のミシン支店より手廻機械一臺外一箇所よりも同樣一臺を横領し云[illegible]十倍以上に入質消費したること發覺し何れも九月[illegible]に入りて悉く鍾路警察署に檢擧され取調べの上檢事局へ送られたり

◉毛金で遊興

平壤濱町村上盛重方同居大阪生れの目根野谷豐三郎は大和町なる京谷煉瓦店に明治四十五年より雇はれ中店の煉瓦土管の賣掛代金を數回に五百圓を横領し販町遊廓の藝樓にて費消し八月廿五日の如きは鎭南浦繰綿工場から同店に送附せる土管代二十九圓の爲替券を拾取し主人の印章を盜捺したる儘を持つて行き藝樓に仕拂ひたること發覺し平壤署に檢擧さる

◉消防手講習會

京畿道警務部消防係主催にて機關組織の大體を知得せしめ火災場に在りて消防手に機關手との適當なる連絡を得る目的を以て鐵道局より講師を聘し南大門消防所に於て明日より十日間瓦斯氣喞筒及び石油發動機喞筒の構成及び取扱に關する實地講習會を開くべしと

◉老鮮婦から強奪

慶北慶州郡內南面蘆谷里日雇朴德九（二〇）は去る廿九日夜同地の白石某方に同居せる內地人の熟睡に乘じ木綿綿帛衣（二）枚を盜み越ねて本月二日同地の金巨福（三三）が粗買ひ入れの爲め旅行するを聞き先廻りして蔚山郡熊村面大嶺里の山中に待ち伏せ三十錢入りの腰金著及び著衣を強奪して逃走せるを被害者の訴へに依り翌日蔚山署の手に捕へらる

◉横領店員

元山旭町三丁目金光酒造合資會社に雇れゐたる兵庫縣生れの大谷直次（三）は主家の商品の販賣及び集金中大正六年五月より八月迄の間に御用先き三十戸より受取りたる賣掛代金の內金七百二十七圓餘を横領し元山遊廓にて遊興に費消したる事の露顯に至るを怖れ永興邑に集金に出掛けしまゝ行衞を晦し居たるが曼麻驛にて主家の手に捕らはれ取調べの上元山支廳の合議裁判に附せられたり

◉太平通町內の同情金

石川彌三郎一家の爲め十二日同町內なる太平通評議員打寄り相談の上金十圓を町內より寄贈する事となりとて遠藤吉賀の兩氏金子を本社へ差出し取次方を依賴されたり

◆樂しい 讀書季節

◆何んな書物の賣れ行きがよいか、新刊書を讀む人が殖えた、秋風颯々たる書窓に訪づれて燈下書に親しむの候となつた、京城の

▣圖書界 を見ると九月の聲を聞いてから俄かに活氣が出て來たやうに見える、夏の頃は餘り屑の凝らぬ讀物、たとへば傳記物や紀行文旅行案內の如きものが賣行きの

▣多數を 占めてゐたが昨今に至つて漸くそれ等のものから研究的の書籍が多く出るやうになつた、其の實例としては國民文庫刊行會の大藏經や實驗化學工業などといふやうなものが最も多數に賣れたといふ、釋宗演禪師が來るので

▣禪書の 賣れ行きも多いとか、新刊物の出版も八月までは學生の夏休みであつたせいか尠かつたが九月に入つてから急に殖えて來た、朝鮮で近頃盛んに讀まれる種類の本は支那滿洲に關するものが多いのはそれだけ

▣同方面 に志す人が多いといふ事實を語るものと見ることが出來る、露西亞に關するものも革命勃發後非常に澤山出るさうである、これは

▣露西亞 に對する興味の上からであらう、夏の頃に比べて讀書力の增して來た事は前記した如くであるが一體に眞面目な本が著しく讀まれるやうになつた事は

▣注目に 値する雜誌類の賣れ行きは依然として盛んなもので各雜誌が九月から一齊に一錢乃至二錢の値上げをしたに拘らず些しもその發行部數の減じないのは時恰かも讀書季に際したせいもあらうが一面

▣京城に 於ける各階級の讀書熱の旺盛な一つの例證とする事ができよう、然して京城の讀書子中最も多く新刊書に親しむものは學校の教員連中で銀行會社員之に次ぎそれから官吏商人といふ順序であるさうだ

木炭買込の時機到來
㋯商店薪炭卸部
京城旭町二丁目（電話武一二三番）
十俵以上御買込御希望の御方には卸直段を以て御届け可申候

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

御待乘の萩の餅賣出し
製菓博士 本城屋 電話二三四三

鑛物分拆開始
設備完全 技術優秀 秘密嚴守 期日正確
京城旭町一の七 鮮滿工業社 電話三〇六〇番

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七・九二〇番

灸術專門開業
あつくなく灸のあとに形もつかずして總ての病に施灸す
灸料 初回金五十錢次回より四十錢 但貧窮者には無料
京城本町二丁目卅四（山本材木店前）
伊藤灸術專門院

身を亡ぼし家を亡ぼし子孫を亡ぼし國を亡ぼす 恐るべき梅毒
新梅毒劑 唯一丸
發生の時期なり
梅毒胎毒横根肝病リョーマチス等の病毒より來る病毒は悉く體內より驅除すると共に安全に體內より驅除すべき良藥により其目的を達す 現今幾多の梅毒藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特效を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百藥效なき方は速に此良藥により不安を去られよ
三日分四十錢 一週間八十錢 二週間一圓五十錢 一ヶ月三圓 特製九圓十三圓 ●全國有名藥店にて販賣せり（品切の時は直接御注文を乞ふ）
其病理發生法及治療法親切に詳述したる冊子を無代進呈す送料四錢を要す
東京市牛込區神樂坂上 發賣元 中西藥局 中西莊吉

天下一品

增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

櫻御殿

第十四回 大阪 霞の家主人

戀爭ひ（五）

清之丞は月清く照る庭傳ひに原の詰所へ歸らうとした、と百日紅の紅う咲いて居る垣の間から

『松尾殿々々』と、微い聲で呼ぶ者がある、清之丞は思はず振り向く、

『此處ぢや〳〵』と風流な冠木門から首を出して『ちよと御意得たい』

『道齋か』

『手前は道齋、然し、斯ういふ聲は道齋で無い、道齋のうしろに此の聲の主が居ます』

『お主の言ふ事はさつぱり分らぬ』

『まづ此處へお越し召さ、聲の主に逢はせ申す』

清之丞はもしやと感じる事があつて、躊躇ひながら歩み寄る、女冬青の翠の間に、白い月の光を浴びて、夢のように立つは果して其人、縋るように寄り添つて

『お懐しうござります』と云ふ、それは初瀬であつた

清之丞は默つて見る

『初瀬どの、これで宜いの、これさ和御寮のお賴みは果してござるぞ』と道齋は幾度も念を推して云つて『長居は恐れ、媒介人は宵の口ぢや、さらば奥へ退り申さう』

道化聲で云つて、栽込の間を去る、その後姿を見送つて、清之丞は襟む息の下から

『恐しい、人目の加をお越にであつたの』と叱るように云ふ

『お怒しなされませ、思ひに堪へかねて、道齋殿の御心切に縋りました、まづお障りも無う、お母樣も御健かと心得ます』

『道齋に油斷召さるな、敵方の間諜者よりまだ胡論な』

『その御懸念には及びませぬ、頑固に見ねても素直でござります、殊には理知り、心切にして下さる――』

『その裏に何があらうやらも知らぬ、それはさて、奥方は御機嫌好いか』

『一時は御苦勞を遊ばしたれど、殿樣お味方と定まつてから、時々と日本一の御機嫌でござります』

『何より重要、此度の合戰、お味方御勝利とは存ずれど、油斷は大敵、一寸も隙は見せられぬ、御奉公を第一に召されうぞ、犬山も敵、竹ヶ鼻も敵、大垣の城へは治部少輔が來て居るさうぢや』

『それでは今にも敵の軍勢が押し寄せて參るかも知れませぬな』

『安心召され、當お城に侍從樣おはす間、敵に木曾川は渡させぬ、必然ぢや』

『賴もしう存じます』と初瀬は力強う云つたが、その後で目許を染めて『あなたも御出陣で厶りませうな』

『勿論なゝ、先陣を申し受けて、思ふまゝに働く所存ぢや』

『お手柄を待ちまする、御勝利の定まるまで、お手疵も負はせられいで』

『それは武運の厚薄に由る、なれど一たび戰場へ出づるから、生きて再び遁らうとする心は無い、萬一討死の便りあらば、和御寮の口から一片の回向を賴むぞ』

『鶴龜々々、そんな事があつて何んと致しませう、わたくしの一念でもあなたのお身へ彈丸一つ當てませぬ、矢一筋中てませぬ、弓矢神へ願かけて、御無事をお祈り申します』と初瀬は心の底から云ふ

『幸ひ無事で手柄をすれば、出世も願はぬ、御加増もお願ひ申さぬ、勳功に替ねて和御寮を所望、天下晴れて夫妻になる』

『わヽ、左程までに……』と初瀬は嬉し涙をはら〳〵流して『そのお詞幾世をかけて忘れませぬ』

『和御寮の情を身に鎧ふて出陣する、これが別れぢや、秋冷ねを厭はうぞよ』

二人は手を取り合つてじつと見入る、月の雫が露ぜ散つて、心の香がそれに籠る、奥殿の琴の音が、絶ゝつ續きつ響いて來る

日報俳壇

雲の峰

浪の音のみの町なり雲の峰 一樹
日に燒けし畑の匂や雲の峰 同
双眼鏡に海と動くや雲の峰 森象
海に聳つ山門の聯や雲の峰 同
赴任する海高鳴りて雲の峰 逐天
精役急ぐ人夫の唄や雲の峰 同
海の光に瞳潤らしぬ雲の峯 隈山
爪先上りの醫師が門や雲の峰 山紫房
粕搾る庫の匂ひや雲の峰 末刀

雷

雷逃げて石山尖る夕日かな 白樂天
雨が呼び來て雷凄し山路哉 二葉
大杉や伐るべかりし雷落ちて 非水

芥子花

所嫌はぬ國境の郵や芥子の花 末刀
怪我人の擔荷過ぐ芥子の花 同
收税の官吏に來し芥子の村 同

蝙蝠

火を吐くや樹の窓や蚊喰鳥 翠楽
蝙蝠や鐘撞き堂に陰みう陽 森象
朱の堂に夕雨晴れて蚊喰鳥 逐天
尖塔に流るゝ滴や蚊喰鳥 山紫坊

青鷺

青鷺や山懐の涸れぬ池 同

□京城二葉會句錄（廿九、八蜂の宿にて）

[illegible]

◉ホーカー懸賞當選者發表 東京ホーカー液本舗にて此程募集せし懸賞問題は非常なる好評を博し應募總數は數十萬枚に達せしが嚴正なる抽籤の結果十一日夕刊第三面に發表しあれば願くば就いて見らるべし

腦病と人の運

諸君は如斯して不快なる腦神經衰弱を治療して多幸なる運命を開拓せよ

▼頭痛のする人

人は自分の運の好い惡いを神樣か何かの力であるやうに思つてゐるが之れは大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである。だから福の神も貧乏神も其人の中に住んで居るのであつて決して他にあるものではない即ちもしも茲に頭の惡い人があつて雨模樣や曇空の時はイヤに頭が重く日常も何となく頭がヅキ〳〵するなぞと云ふ腦病頭の爲にロクに仕事が出來ないとすると社會は此人を冷遇する。それに反して頭の好い人即ち健腦の頭腦を有する人は仕事もどん〳〵捗るので社會が厚遇する。其處で『あヽ俺は何故運が惡くなるだらう』と歎聲を發する事になるがこれは決して運が惡くなるのでは無く自分で運を惡くするのである。此場合其惡い頭を治す事は即ち自分の運を好くする方法なのだ即ち腦病良劑レーベンの發明者常持醫學士の二冊の治療書は其方法書に外ならない

▼記憶の惡い人

醫學士常持爲治氏は此二冊の腦病治療書を廣く社會に頒布してゐるが其は何故であるとか云に、つまり今の世の『運の惡い人』を救ふために外ならないのだ。同氏はそのために其半生を費して苦心慘澹たる結果有名なる健腦新劑レーベンを發明した位である一體今の世は腦神經衰弱時代と云ても好い位であつて男なら腦神經衰弱、女ならヒステリーの人が非常に多い之れは世の文明が進んで生存競爭が烈しくなるに從び殖ゆる病氣であつて。頭痛のする人なども皆此病人である。『僕は近頃何うも物忘れをして困る』なぞと云ふ人も此病氣にとりつかれてゐるのだ。ツマラない事をひよい〳〵忘れてゐる中は未だ好いが知らぬ中に病氣が進んで、やがては親しい友達の名を忘れたりする位になる。此點は學生など最も注意すべき事であつて學業優秀の青年たるには何よりも健腦が大事である

▼夜眠れぬ人

腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠れない事である。いざ床についたとなつてもさまざまな妄想があとから、あとからと湧て來て却々眠れない眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない取越苦勞をしてみたり莫迦げた空想に追れたりしてやがて一時の時計がなり二時の鍾を聞き移には頭が何かで壓れるやうに重くるしくなつて來る。漸々夜が明る……たまに眠れば不愉快な夢に襲はれて、冷汗が全身にビッショリと流れてゐると云有樣、勿論翌日の氣分の惡い事は夥しい。其でも本人さつぱり病氣とは氣がつかずに『近頃は眼が冴ねて困る』位で平氣でゐるのだ。實に危險な事である。『本人自身で解らない』のが此病氣の特徵であつて本人の知らぬ間に病勢はずん〳〵進んで其結果半身不隨になつたり卒中で倒れたりする事になるのであるから本病者は何を措いても常持學士のレーベンを常用して二冊の治療書を讀む必要がある。それはハガキで申込めば無代で附ろ

▼飽きつぽい人

夜眠れないために翌日頭る不愉快なのは云迄もない事だが。それがために仕事が捗らないと云事は其人の爲に何れ位不幸であるか解らない『仕事に熱心になれない』と云のは此病氣の一症徵であつて仕事をしてゐるのもすぐ飽が來て書見中眠氣を催すや●すぐと欠伸が出て何かの拍子に立上る、ぐら〳〵と眩暈を感ずるなぞと云ふ人は皆本病にかゝつてゐるのである斯る人が社會に於て何れ丈の活動が出來よう。云ふ迄もなく劣敗者たる運命に立到るのである。即ち斯る人は一日一刻も早く常持學士の治療法に從ふか又は其健腦劑レーベンの偉力に賴るかして速に全治する必要があるのである。レーベンは旣に醫學的にも價値を知られてゐるので今更新しく説く必要はないが岡田和一郎博士を始め同科大家が説明して第一に補腦性藥であつて麥を常食とする東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを多量に含んで第三にその製劑法が最新式で完全であると云てゐる依ても其社會的信用の程度は知れよう

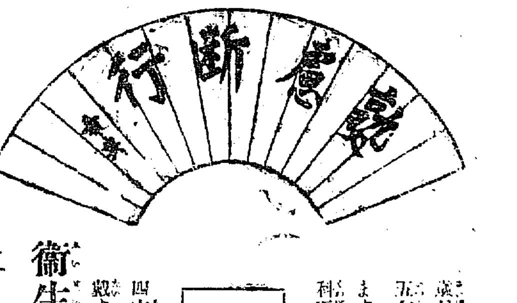
▼優柔不斷の人

一體此病氣の人は俗に云『ぐづ』であつて些とした手紙を書くのも面倒、人を訪問するのも面倒で常に何らぬ自信力の缺乏とか厭世の情なぞがわけもなく起つて來て終ひには取返しもつかない運命に入るのであるから速に治療の法を講ずるが好い。何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市南稻町二十二番地、弘濟院中定太郎へ申し込めば常持醫學士の『腦神經衰弱療法』『精神療法』の二冊子は直に無代贈呈さるゝのである。本書は容易な文章で何人にも理解出來るやうに簡單確實な療法が書てある。人は自分自身の醫者である神である自分の心掛一つで幸不幸は分れる。無遠慮今直に申し込むがよい。

噫乃木將軍

早くも今日は御五年祭

歲月は流水の如で軍神乃木大將が逝いてから早くも今日は五年となつて亦更に新なる追慕の涙を禁じ得ないのであります、護國の神と仰ぎ奉る將軍には世に教訓されました金科玉條は幾萬言ありますが中にも



熟慮斷行 の

四文字は實に萬民が等しく處世上の座銘として恭しく拜誦すべき金言であります、今これを

衞生上より解すると藥一つ買にも大いに熟慮せねばならぬ

處方者は責任あるか●製造元は資力も信用も充分あるか●危險な副作用はなきか●效驗は顯著であるか●價格は如何等の問題を深く研究した上それが自分の意に叶つたものであれば直ちに決斷して購求すべきものである。

如何に學理上の見地より照すも、寸毫批難すべき餘地がない最も進歩せる理想の良劑で一般智識階級から賞讃を博されてをります。

殺菌性 下痢止 腸胃藥 柏村博士の ヘルプ は

夏の不養生は秋に入つて恐しい結果を齎す故此際腸胃に故障ある人は直ちにヘルプの服用を斷行し腸胃の健全を計り置くは惡疫流行の恐ある今日最も肝要である

消化と殺菌の 下痢止 腸胃藥

ヘルプの偉力

健胃、殺菌、消化、收斂、鎭痛、防腐等の諸作用を完備する他に比類なき理想の腸胃藥

定價 貳拾錢 參拾錢 五拾錢 旅行用ポケット函 壹圓 貳圓半

ヘルプ效能

●食過●食傷●消化不良●時候あたり●水あたり●寢冷等より起る

▲下痢腹痛▲吐瀉▲溢腹▲腹瓦斯を止め▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

東京日本橋區本銀町三 本舗 津村敬天堂 振替東京八六四番

□全國各藥店に販賣す□

商況

東京期米（十二日前場）

九月限 二六〇、六〇 大引
十月限 二六七、四五
十一月限 二六九、一〇

仁川期米

▲十二日後場 京限出來不申中限㊂十九圓八十六錢●先[illegible]五錢八台 平均四錢㊂高値出來高一百五十石 [illegible]十七圓三十一錢三[illegible]

▲依然强硬 天候一時曇模樣を呈し [illegible] 五錢と跳ね大阪正七十九錢の移りありたると二錢さ押し四錢と返し三錢さ据置裡に依然强硬の成行を示して散會

▲受米賣說 前日米喰に上り居りたる前月限受米及び七月限受取米の殘師共に[illegible]米店へ買約定成立したりとの事にて俄に期近の活況となり先限も是が身代り買物現はれん形勢にて頓に[illegible]あり[illegible]

▲仁川現物界 [illegible]多く大姿の軟弱に反し强硬の場面と化し去りたり不知今後如何なる成行を呈するなるか [illegible]地揚までは十八圓十錢より四十錢迄に[illegible]

平均 [illegible] 出來高 二萬六千[illegible]

●亂暴な男 全北金堤郡扶梁面[illegible]被害者の母が探知し金の返還を迫りたるに機用は又も其の母の髮の毛を[illegible]

朝鮮郵船 出帆

本社 京城府[illegible] 電話長一九五二番

○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず

×京城丸 九月廿三日 釜山發
×忠清丸 九月廿九日
成鏡丸 九月十八日
平壤丸 九月十四日

○元山より各地經由雄基行

穩城丸 九月廿一日 元山發
鏡城丸 九月十五日
平壤丸 九月十七日

○浦潮行（元山より城津經由） 平安丸 九月廿一日 元山發

○元山長箭航 鏡城丸 九月十四日 元山發 忠清丸 九月二十日 鏡城丸 九月廿三日

○釜山元山間（一時休航）

○鬱陵島行浦項及各地經由 慶寶丸 九月十三日 釜山發

○浦項行 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 咸平丸 九月十七日 釜山發

○釜水行 統營丸 濟州丸 毎日 釜山發

○木浦麗水浦 順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發

○木浦より濟州島行各島經由 東廻、公州丸 西廻、慶興丸 九月十五日 九月十七日 木浦發

○多島海各島行 慶興丸 九月廿二日 木浦發

○木浦行 晉州丸 慶水丸 九月十七日 九月廿二日 仁川發

○鎭南浦行 宗信丸 九月十五日 仁川發

○海州行 全州丸 錦江丸 毎日 仁川發

○青島行 江原丸 九月廿一日 仁川發

尼崎汽船 仁川出帆

○大阪直行 群山、木浦、釜山、下關、神戸經由 大湖丸 九月十七日 後四時出帆 大有丸 九月 後四時出帆

▲印大阪直行 仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船 仁川出帆

○大連行 太沽（天津）牛莊行 相模丸 九月廿八日 高砂丸 十月九日 三河丸 九月二十日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話堀 回漕部

大阪商船 仁川出帆

仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會

元山代理店 電話二四七番 田口回漕部

京城取次店 東大門（電話二六八、二〇七） 河村運送店

阿波共同汽船 仁川出帆

第廿共同丸 九月十三日午後入港 九月十四日午後十時出帆

阿波共同汽船株式會社

汽船釜山出帆廣告

○和歌浦丸 門司、神戸、大阪行 九月十六日後五時出帆
○立神丸 九月廿七日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 和歌浦丸 九月廿六日後十時出帆
○立神丸 九月十五日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版 寫眞製版

京城日報社寫眞製版部